



東証プライム市場 6143



2024年12月期第2四半期
決算説明会
株式会社ソディック

2024年8月16日



2024年12月期
第2四半期 業績

業績ハイライト(2024年12月期第2四半期累計)



連結 業績	構造改革を進め売上総利益改善に進展有り、通期営業黒字化見込む 売上高: 335億円 前年同期比 +0.3% 営業利益: △0.5億円 前年同期比 - %
工作機械 事業	前年比販売台数低下も為替により前年比売上微増も利益は低下 売上高: 248億円 前年同期比 +2.8% セグメント利益: 9.6億円 前年同期比 △33.7%
産業機械 事業	一部(電子部品、アジア地域)で復調傾向。構造改革による利益創出 売上高: 44億円 前年同期比 +0.3% セグメント利益: 2.9億円 前年同期比 - %
食品機械 事業	上期売上、利益とも未達。下期に大口受注商談有り売上回復見込み 売上高: 15億円 前年同期比 △36.8% セグメント利益: 0.07億円 前年同期比 △92.6%
その他 事業	大口商談獲得により売上確保。構造改革により更に収益改善取組中 売上高: 27億円 前年同期比 +13.5% セグメント利益: △0.9億円 前年同期比 - %

※ セグメント利益の調整額 △ 12億円

決算概要(2024年12月期第2四半期)

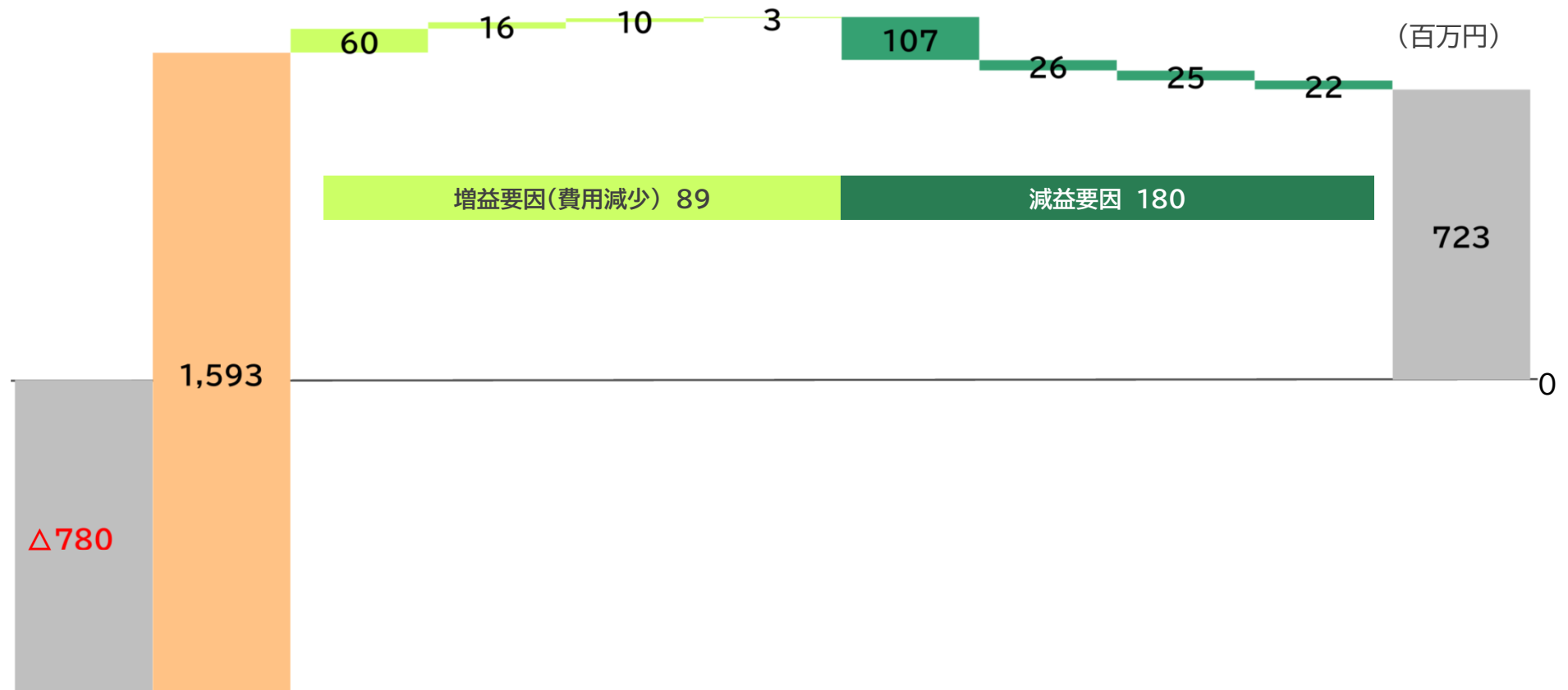


- ✓ 工作機械事業、産業機械事業、その他事業において売上増加し、前四半期比14.8%増収
- ✓ 180億円弱の売上高の達成と、構造改革効果等により売上原価低減及び固定費の削減が進み、売上総利益は前四半期比で約16億円増加(売上総利益率5.1ポイント改善)。営業利益も5四半期ぶりに黒字化達成
- ✓ 期初からの円安進行により為替差益が発生し、約17億円の経常利益(為替差益 約7億円)

(単位:百万円)	2023年 1Q	2023年 2Q	2023年 3Q	2023年 4Q	2024年 1Q	2024年 2Q	前四半期対比
売上高	16,884	16,594	16,456	17,238	15,636	17,957	14.8%
売上総利益	5,310	4,931	4,392	4,647	4,516	6,110	35.3%
売上総利益率	31.5%	29.7%	26.7%	27.0%	28.9%	34.0%	5.1pt
営業利益	318	△708	△1,014	△1,414	△780	723	—
営業利益率	1.9%	△4.3%	△6.2%	△8.2%	△5.0%	4.0%	9.0pt
経常利益	508	333	△492	△1,606	△187	1,689	—
当期利益	141	△244	△786	△3,714	△497	1,297	—
設備投資額	1,487	1,436	1,306	1,778	1,109	330	△70.2%
減価償却費	891	923	968	1,008	886	733	△17.3%
研究開発費	819	886	856	873	744	605	△18.6%
USD/JPY	132.42	135.00	138.24	140.67	148.63	152.36	3.73安
EUR/JPY	142.16	145.93	149.77	152.11	161.33	164.70	3.37安
CNH/JPY	19.35	19.45	19.61	19.81	20.63	21.04	0.41安
THB/JPY	3.91	3.95	4.01	4.04	4.17	4.21	0.04安

営業利益増減要因

- ✓ 2022年4Q以来1四半期で180億円弱の売上高の達成と、構造改革効果等により売上原価低減が進み、売上総利益は前四半期比で約16億円増加(売上総利益率5.1ポイント改善)
- ✓ 販管費の増加を適切な範囲(1四半期で1億円以下増)に抑えつつ、事業計画の達成を目論む



2024年1Q
営業利益

売上総利益

支払手数料

販売手数料

人件費

その他販管費

広告・販促費

運搬費

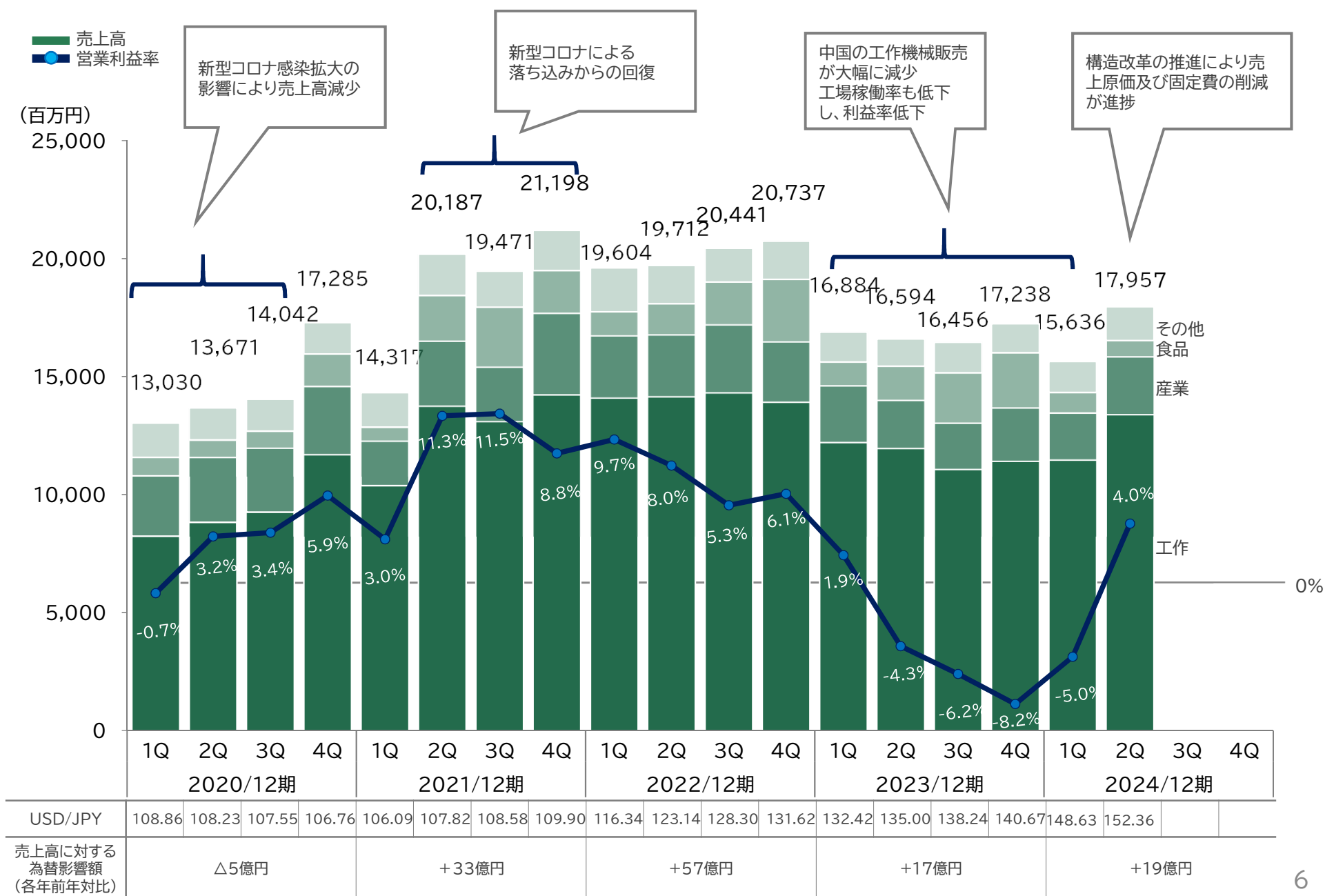
旅費交通費

研究開発費

2024年2Q
営業利益 5

販管費

売上高・営業利益率推移(四半期毎)



セグメント別業績

(単位:百万円)		2023年	2023年	2023年	2023年	2024年	2024年	前四半期対比
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	
売上高	工作機械事業	12,227	11,973	11,084	11,421	11,471	13,404	16.8%
	産業機械事業	2,393	2,024	1,949	2,262	1,994	2,438	22.3%
	食品機械事業	998	1,449	2,125	2,328	859	689	△19.8%
	その他事業	1,265	1,146	1,297	1,225	1,311	1,425	8.7%
	売上高 計	16,884	16,594	16,456	17,238	15,636	17,957	14.8%
セグメント利益	工作機械事業	1,023	433	△ 48	△ 609	△ 56	1,021	—
	産業機械事業	140	△ 134	△ 263	△ 220	126	169	33.7%
	食品機械事業	△ 44	141	175	603	△ 45	53	—
	その他事業	△ 0	△ 290	△ 286	△ 377	△ 121	31	—
	セグメント利益 計	1,119	149	△ 422	△ 604	△ 97	1,275	—
調整額		△ 800	△ 858	△ 591	△ 809	△ 682	△ 552	—
営業利益 合計		318	△ 708	△ 1,014	△ 1,414	△ 780	723	—

セグメント別業績



Sodick

■工作機械事業

売上高

日本：放電加工機の内需全体見通しが100億円前後と停滞傾向。省エネ補助金申請数十件有り、今後採択期待。
中華圏：3月以降4、5月受注好調。EV車、スマホの新機種導入と、政府補助金政策寄与。年末まで実施のため効果継続期待
アジア：全般的に回復基調。特に自動車、航空機関連が堅調。地域別ではインドでの2輪、4輪関連投資意欲高い。
北南米：北米の自動車生産は前年比増と回復基調も本格化せず、航空宇宙、電子部品、医療機器は堅調。南米へ注力。
欧州：自動車生産調整継続。航空宇宙は好調

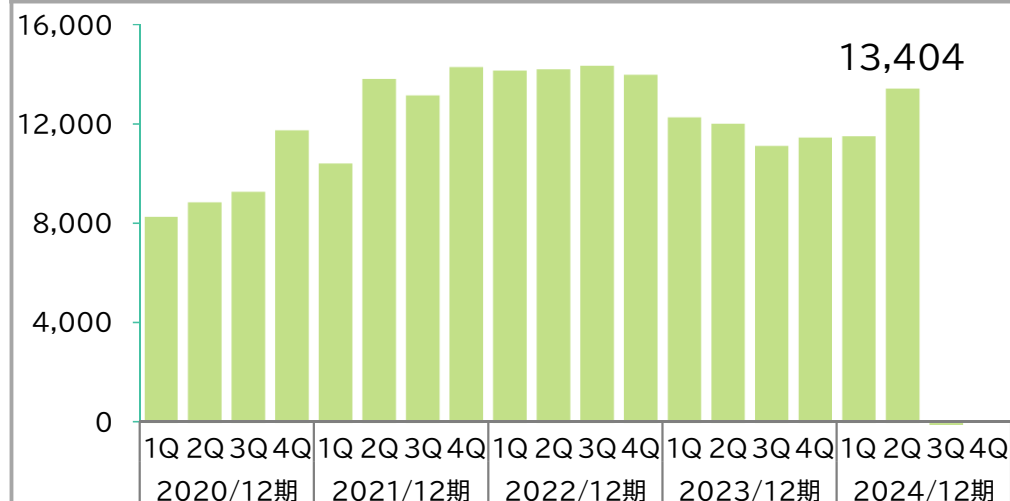
利益

第2四半期の総販売台数が700台弱となり、4四半期ぶりに営業黒字化回復。中国の生産体制集約による製造原価削減進行中。

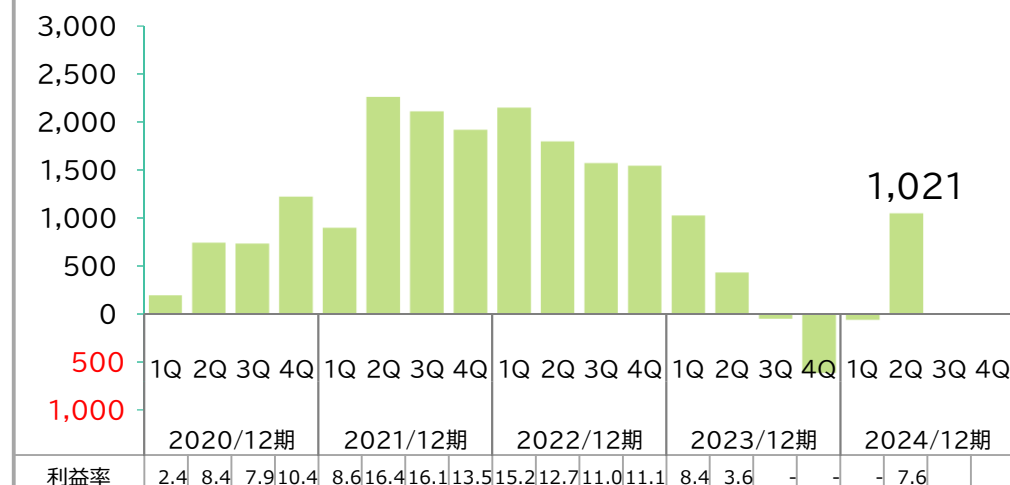
単位:百万円	2024年 1Q	2024年 2Q	前四半期対比	
売上高	11,471	13,404	1,932	16.8%
セグメント 利益	△ 56	1,021	1,077	—
利益率	-0.5%	7.6%		

売上高(四半期推移)

(百万円)



セグメント利益(四半期推移)



セグメント別業績



産業機械事業

売上高

日本:上期進捗は約30%程度。自動車関連減速やスマホや端末機器の販売不振が影響し国内メーカーは内需外需ともに低調。
海外:全体的に市況は低調だが、有力引合いを取り込み、今期売上達成可能な見込み
中華圏:上期進捗は約45%程度。前期に比べ低迷傾向、下期大口案件少ない見通し
その他:アジア地域、電子部品は比較的堅調。
・半導体搬送用トレイ、光学関連(東南アジア)
・光通信コネクタ増産対応(米国、中国)
・屋外大画面用、LEDリフレクタ需要(中国)

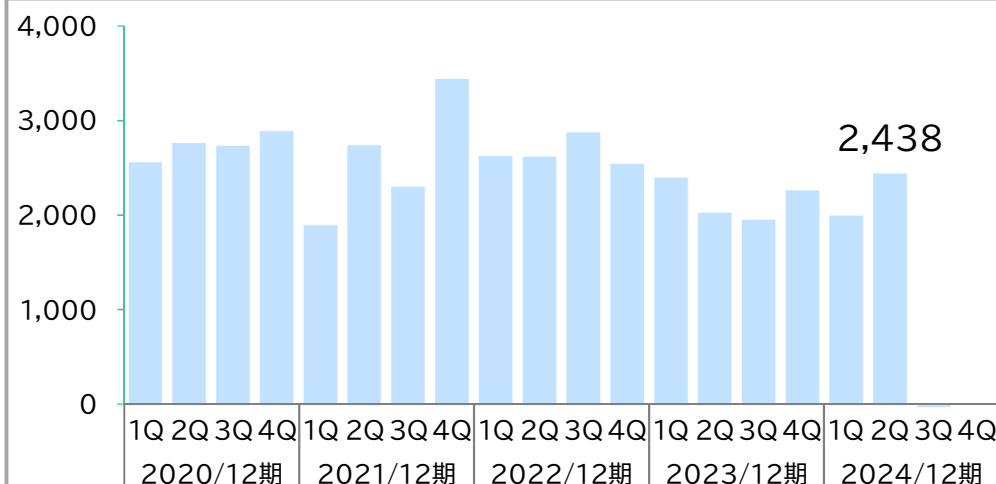
利益

ISO準拠に伴う値上げやその他経費削減等の影響でセグメント利益増加

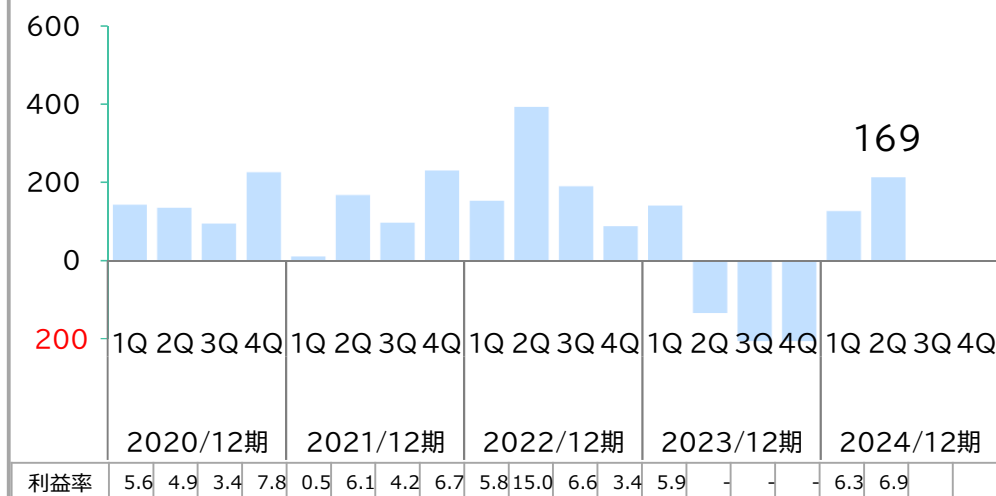
単位:百万円	2024年 1Q	2024年 2Q	前四半期対比	
売上高	1,994	2,438	444	22.3%
セグメント利益	126	169	42	33.7%
利益率	6.3%	6.9%		

売上高(四半期推移)

(百万円)



セグメント利益(四半期推移)



セグメント別業績

■食品機械事業



売上高

- ・国内及び海外の製麺機関連設備や海外向け無菌包装米飯製造装置等の需要堅調
- ・上期売上未達も、下期に複数の大口案件が進行中であり売上回復見込み。
- ・アジアを中心とした海外市場で食の高品質化やインフラ整備等で生麺や米飯需要増加
- ・メインの米飯・製麺設備に加え、惣菜、菓子用設備等の新分野での売上寄与。
- ・小麦由来タンパク質を原料にした新世代肉様プラントベースフード(PBF)「フラカルネ」を開発。将来の売上貢献に期待

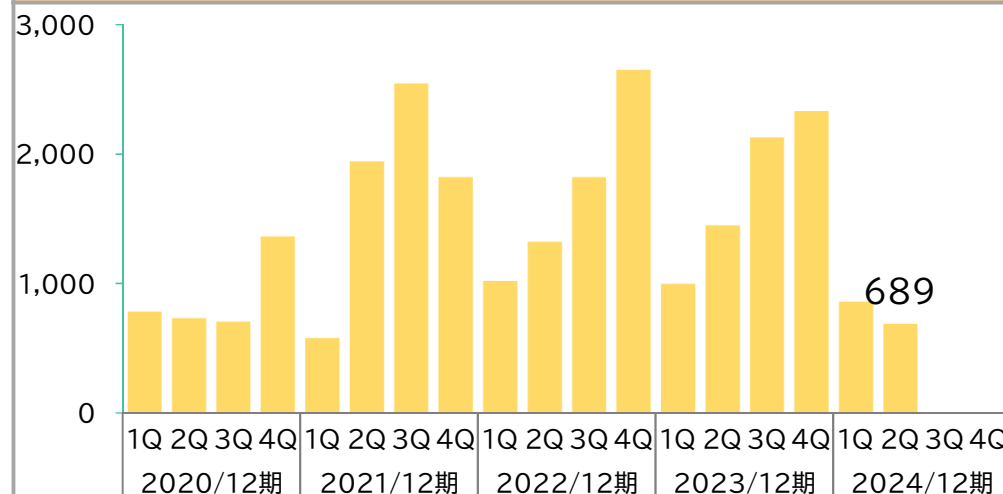
利益

第2四半期の売上高は減少も、原価率の改善により、セグメント利益改善

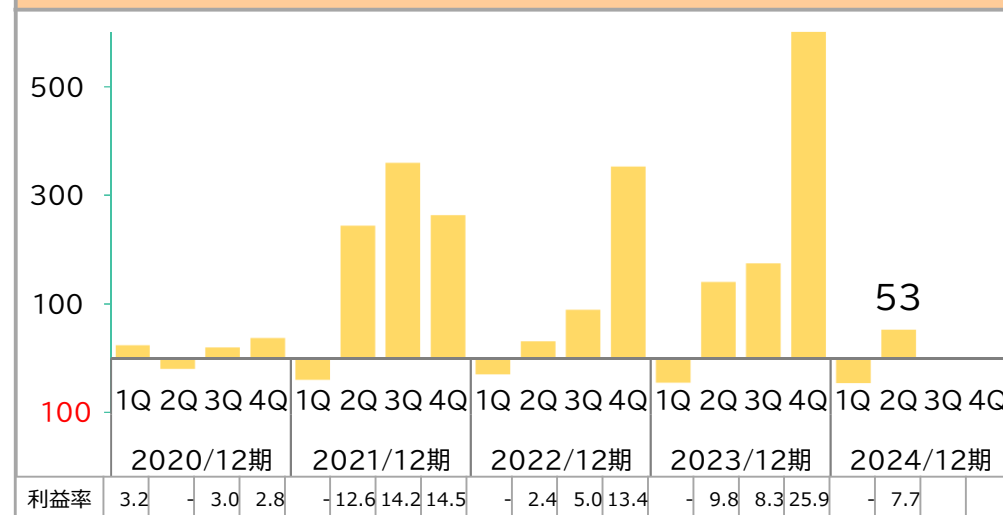
単位:百万円	2024年 1Q	2024年 2Q	前四半期対比
売上高	859	689	△ 169 △19.8%
セグメント 利益	△ 45	53	98 —
利益率	-5.3%	7.7%	

売上高(四半期推移)

(百万円)



セグメント利益(四半期推移)



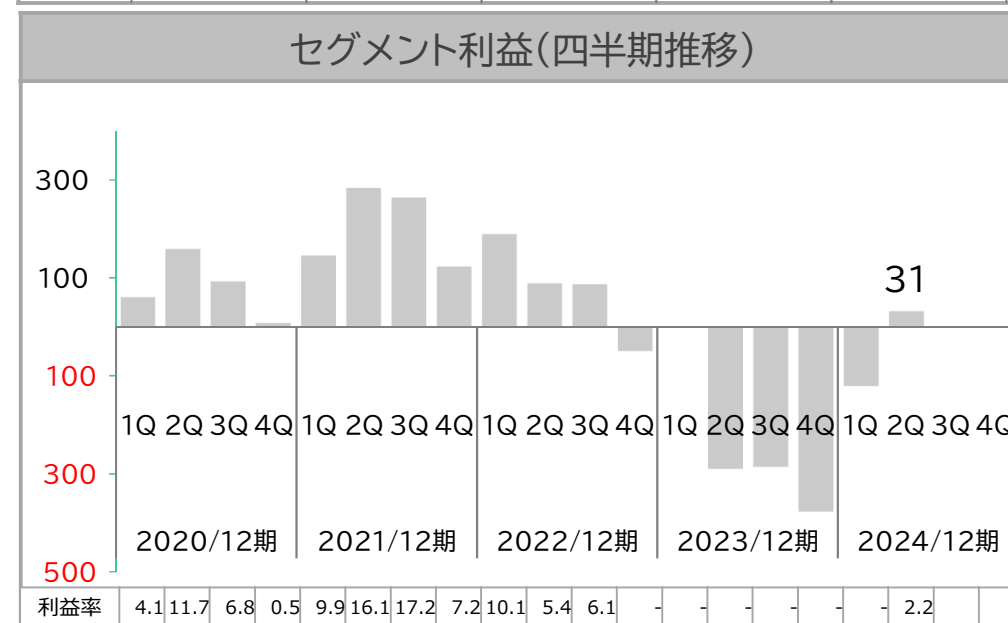
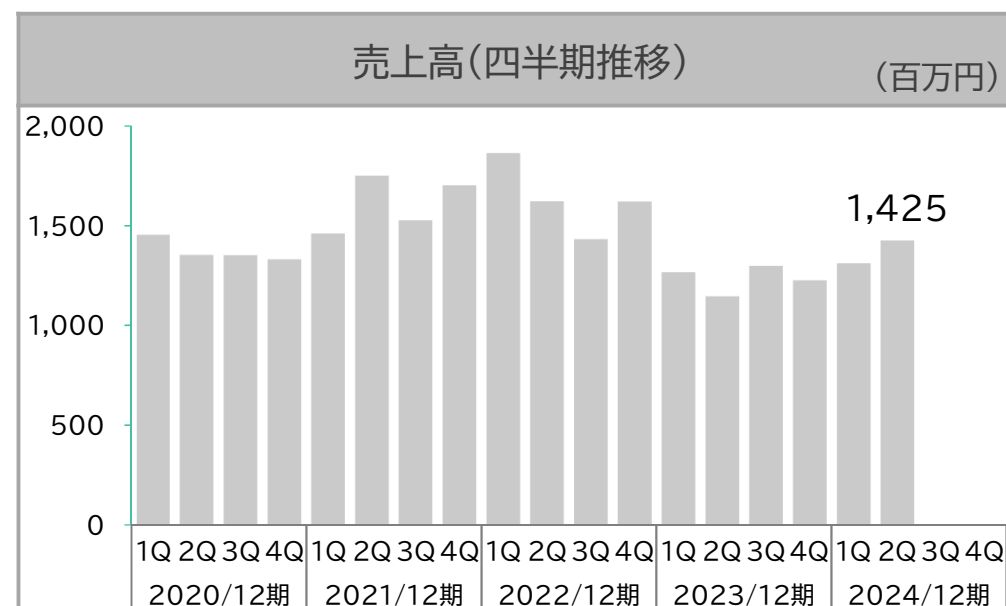
セグメント別業績

■その他事業

(精密コネクタ等の受託生産を行う金型成形事業と
リニアモータやセラミックス製品、LED照明等の
販売を行う要素技術事業)

売上高	・金型成形事業:自動車関連向け需要低調 ・セラミックス外販:半導体製造装置市場の減速継続 ・LED投光器の大口案件獲得により売上高は前年同期比増加
利益	金型成形事業での収益性の高い案件対応及びLED事業での大口案件等により、第2四半期のセグメント収益は黒字転換

単位:百万円	2024年 1Q	2024年 2Q	前四半期対比	
売上高	1,311	1,425	114	8.7%
セグメント 利益	△ 121	31	153	—
利益率	-9.3%	2.2%		

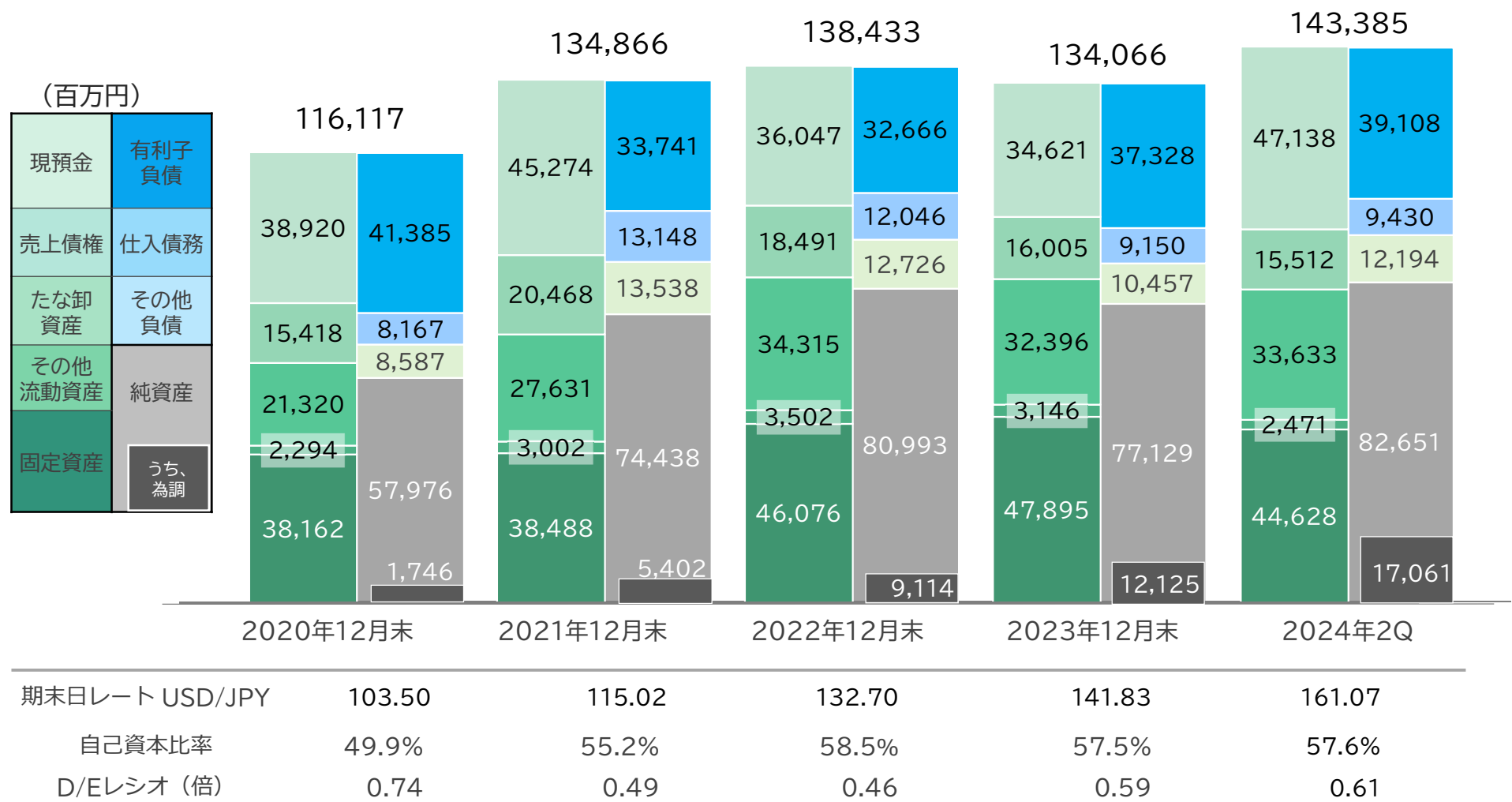


貸借対照表

✓ 総資産は前期末比約93億円増加

現預金は、固定資産から現預金への定期預金の振替、借入増加、蘇州工場の移転補償金等により大きく増加

✓ 円安進行により為替換算調整勘定が170億円まで増加、純資産は前期末比約55億円増加

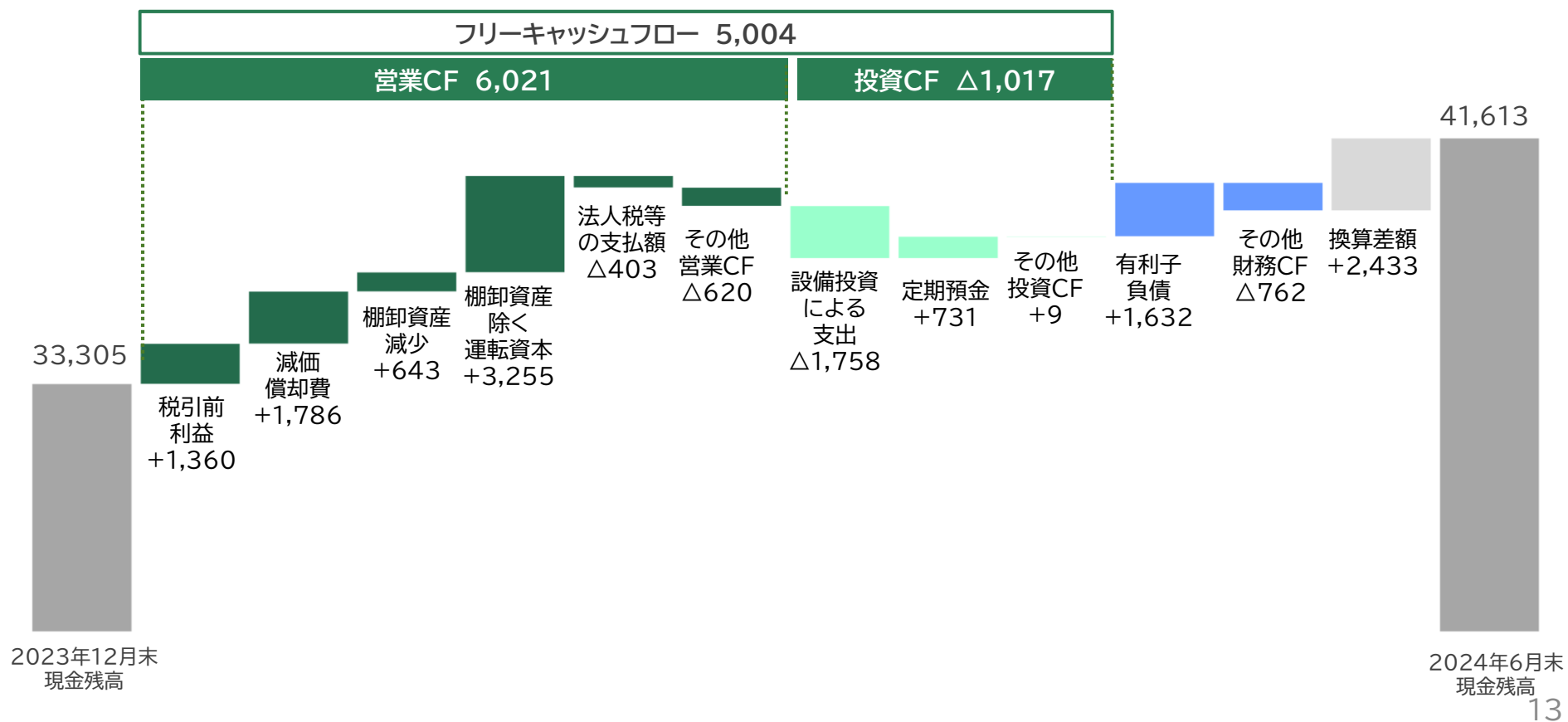


キャッシュ・フロー



(百万円)

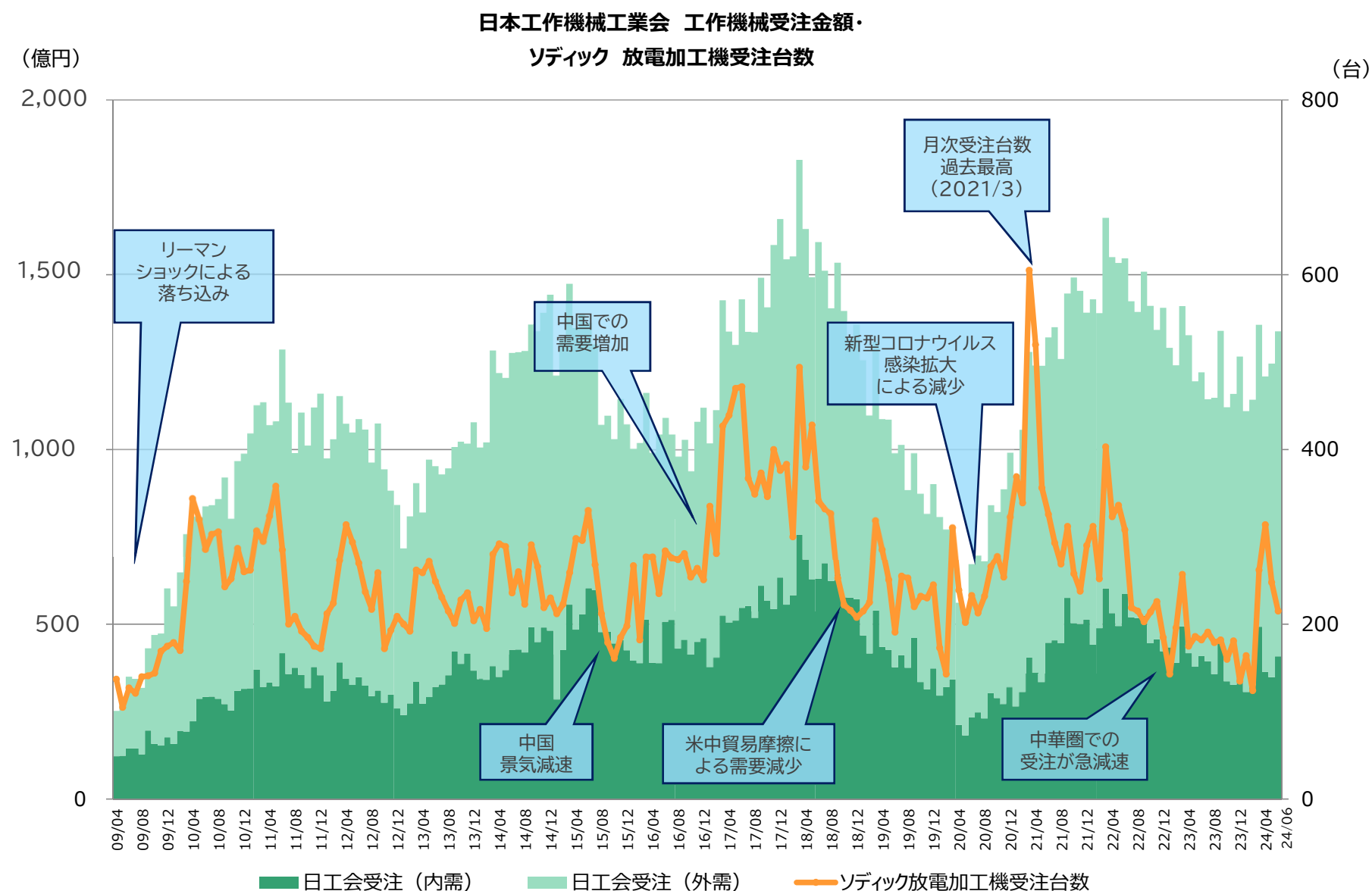
	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年2Q
営業CF	5,270	7,642	3,543	△14	6,021
投資CF	△1,410	△2,203	△10,957	△2,492	△1,017
財務CF	1,665	△1,932	△6,012	1,421	869
現金・現金同等物期末残高	38,255	44,229	33,158	33,305	41,613





2024年12月期
見通し

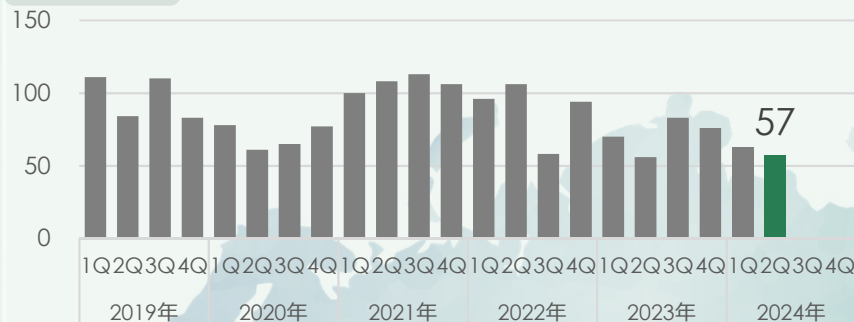
日工会受注額 / 当社放電加工機受注台数 推移



放電加工機受注台数 四半期推移(地域別)

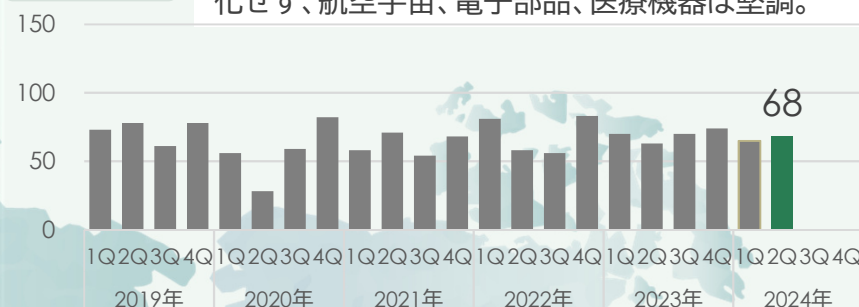
欧州

自動車生産調整継続。航空宇宙は好調



北南米

北米の自動車生産は前年比増と回復基調も本格化せず、航空宇宙、電子部品、医療機器は堅調。



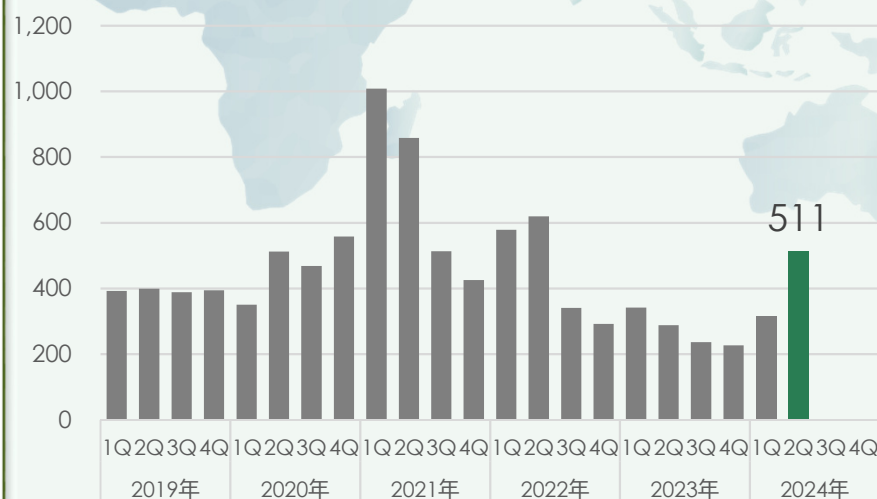
日本

放電加工機の内需見通しが100億円前後と停滞傾向。省エネ補助金申請 数十件有り今後採択期待



中華圏

3月以降4、5月受注好調。EV車、スマホの新機種導入と政府補助金政策寄与。年末まで効果継続期待



アジア

全般的に回復基調。特に自動車、航空機関連が堅調。地域別ではインドでの2輪、4輪関連投資意欲高い



2024年12月期 通期業績予想

- ✓ 期初計画より円安傾向であり、海外での売上分に円安効果を考慮することにより、売上増加を想定
- ✓ 円安進行による為替差損益の計上を考慮し、経常利益及び当期利益を上方修正
(第2四半期までの為替差益 約14億円+下期一定程度の為替差損発生 of 予想)

(単位:百万円)	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年		
					期初計画 (2/13)	修正計画 (8/8)	前回予想対比
売上高	58,030	75,174	80,495	67,174	72,200	72,500	+0.4%
営業利益	1,852	6,813	5,813	△2,819	1,100	1,100	—
営業利益率	3.2%	9.1%	7.2%	△4.2%	1.5%	1.5%	—
経常利益	2,046	8,588	8,275	△1,257	1,100	1,600	+45.5%
当期利益	1,346	6,591	6,021	△4,604	700	900	+28.6%
ROE	2.3%	10.0%	7.8%	△5.8%	0.9%	1.1%	+0.2pt
※下期想定レート							
USD/JPY	106.76	109.90	131.62	140.67	140.00	148.00	145.00
EUR/JPY	121.88	129.91	138.14	152.11	157.00	160.00	158.00
CNH/JPY	15.48	17.01	19.45	19.81	20.00	20.70	20.40
THB/JPY	3.42	3.44	3.75	4.04	4.10	4.10	4.10

2024年12月期 通期業績予想(セグメント別)

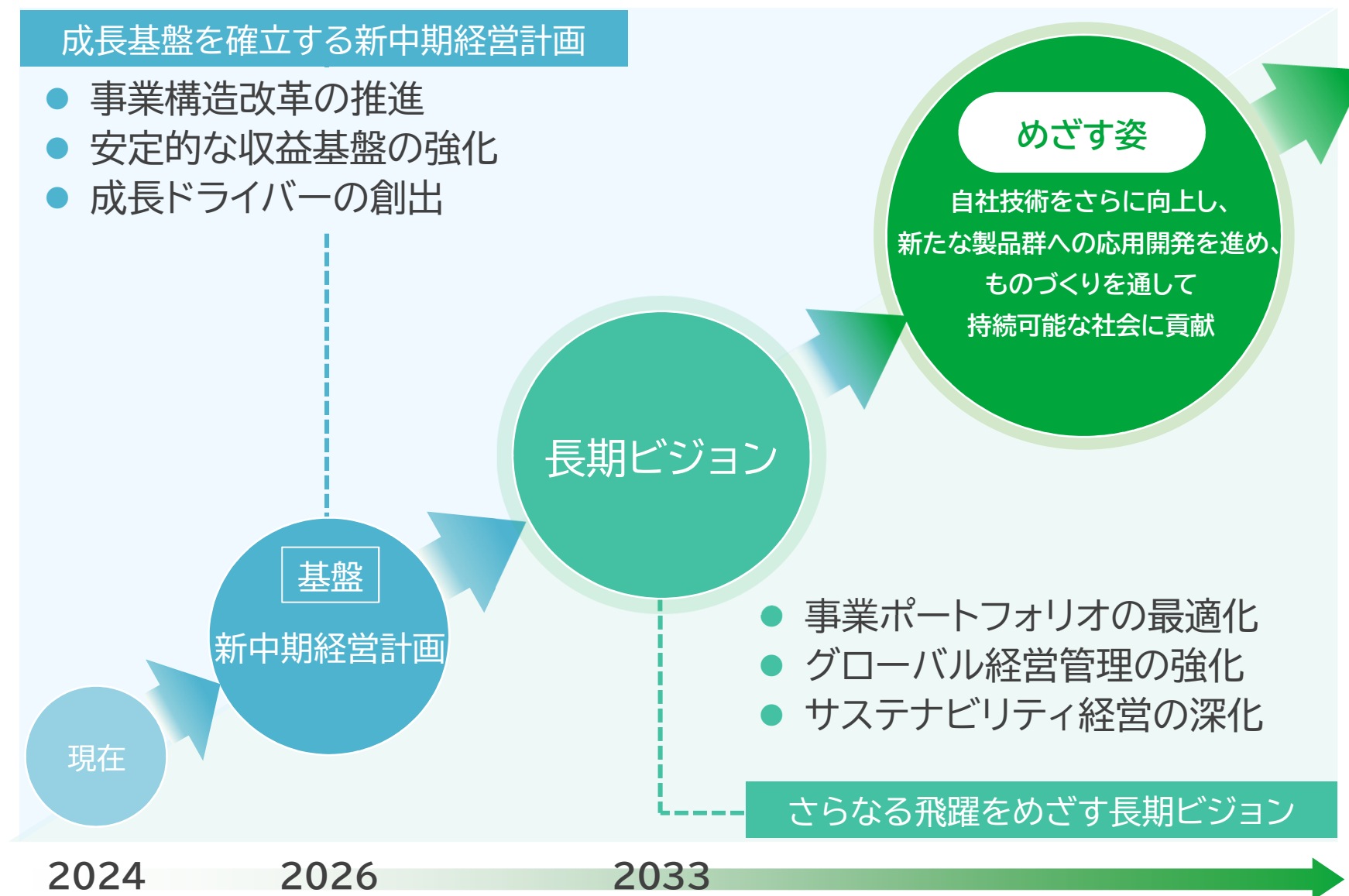
- ✓ 工作:売上高は円安での押し上げ効果等により微増だが、販売台数は期初計画を下回り、利益予想引き下げ
- ✓ 産業:構造改革によるコスト削減や販売機種の見直し等により増収増益の予想
- ✓ 食品:各案件の進捗状況を勘案し、売上・利益ともに見直し

(単位:百万円)	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年 期初計画 (2/13)	2024年 修正計画 (8/8)	前回予想対比
工作機械事業	38,024	51,485	56,492	46,706	49,400	49,500	+0.2%
産業機械事業	10,931	10,367	10,656	8,630	9,000	9,300	+3.3%
食品機械事業	3,585	6,884	6,813	6,902	8,100	8,000	△1.2%
その他事業	5,488	6,437	6,533	4,934	5,700	5,700	—
売上高 計	58,030	75,174	80,495	67,174	72,200	72,500	+0.4%
工作機械事業	2,896	7,176	7,046	798	2,800	2,100	△25.0%
産業機械事業	596	503	820	△ 478	100	600	+500.0%
食品機械事業	65	830	447	876	1,000	900	△10.0%
その他事業	319	811	313	△ 954	0	0	-
セグメント利益 計	3,878	9,321	8,628	241	3,900	3,600	△7.7%
調整額	△ 2,025	△ 2,507	△ 2,814	△ 3,060	△2,800	△2,500	-
営業利益 合計	1,852	6,813	5,813	△ 2,819	1,100	1,100	-



中期経営計画の進捗
及び
各事業の取組報告

長期ビジョンおよびめざす姿



01

既存事業全体について収益性の改革

第一に、構造改革期間においては主軸である放電加工機の競争力を強化しつつ、
①脱中国依存、②選択と集中、③生産・販売体制の再構築により、
既存事業全体について収益性の改革を図る

02

中長期的な成長戦略としては、次の施策を推進し業績を拡大する

金属3Dプリンタ

- 製品の展開加速(当社の強みを活かして他社とのアライアンスも視野)
- 主戦場である欧州・米国への本格展開
- 新エネルギー車(NEV)関連でギガキャスト金型への対応力で差別化

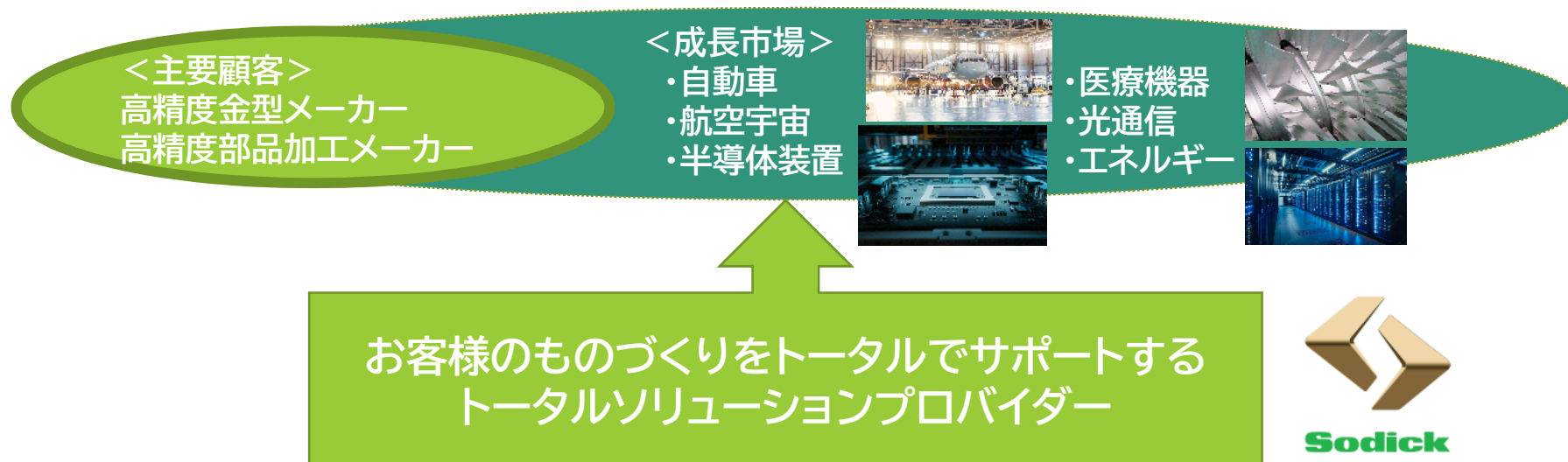
レーザ加工機

- 新規参入のレーザ加工機事業の拡大 (他社とのアライアンスも視野)
- 従来にない加工性能の提供
- 将来的に半導体製造のニッチプロセスで競争力ある製品・事業展開

食品機械

- 海外販売の拡大
- 既存製品の高付加価値化と新製品開発

- ✓ お客様のものをトータルでサポートするトータルソリューションメーカーであり続ける
- ✓ 精密加工技術に加え、デジタル設計(ソフト)、自動化、サービス含め技術コンピタンス蓄積
- ✓ 顧客基盤を従来の金型・部品加工メーカーに加え、航空、通信、半導体、医療等に拡大、強化



技術コンピタンスの蓄積

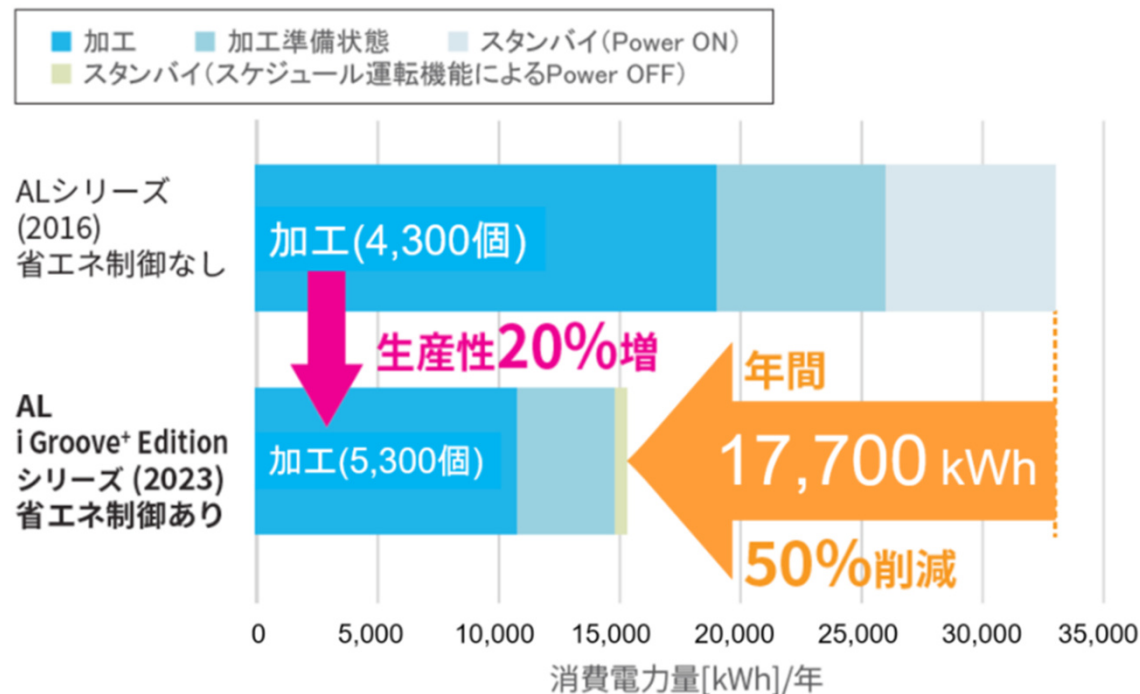
ソフトウェア	機械製品	自動化 Solution	技術サービス	サプライ品
CAD-CAM シミュレーションソフト	金属3Dプリンタ マシニングセンタ レーザ加工機 ワイヤ放電加工機 形彫り放電加工機	フルオート セミオート 各種搬送装置 IoT NAVI スケジューラー	加工技術支援 定期点検プロ NCスクール 技術指導 顧客ポータルサイト	ワイヤ電極線 細穴加工用電極 リサイクルシステム 加工液 eポイントプログラム

- ✓ 放電加工機のトップメーカーとして製造の高度化に対応し、お客様の課題解決に取り組む
- ✓ 生産性向上、省エネ化(コスト削減)、環境対応を同時に実現化
- ✓ 自動化ソリューション、DX対応も進め、顧客対応力を更に強化

<効果例>

- 電力コスト削減:約350,000円/年間
- CO2削減:7,752Kg-CO2

■ 60 Hz地域の場合



※令和6年7月環境省公表全国平均係数 0.438kg-CO2/kWh で計算

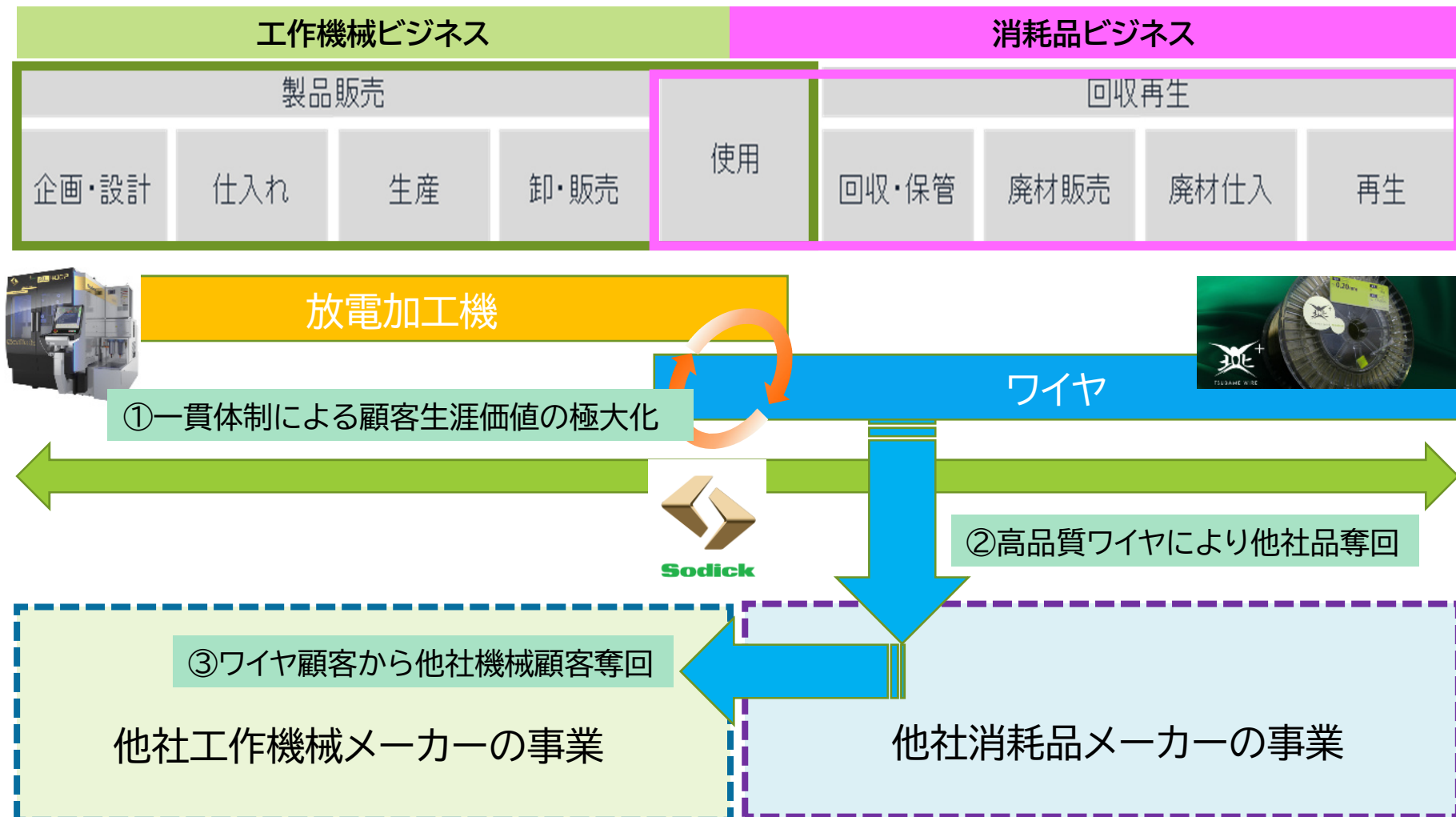
【計算条件】1日12時間・加工・、6時間・加工準備状態・、6時間・スタンバイ・とし、月20日、1年間稼働を想定、その他当社設定条件に基づく効果は当社試算データに基づく



リニアモータ駆動/高速・高性能ワイヤ放電加工機 AL400P "i Groove + Edition"



- ✓ アフターサービス事業(消耗品販売、保守)を強化し、一貫通貫で継続的に顧客対応を実現
- ✓ 高品質な消耗品(ワイヤ)事業を強化し、他社機械ユーザー層への拡販、更に消耗品事業での接点強化により、他社機械の更新需要の取り込みを狙う



- ✓ “Sodick Smart Solution”の統一コンセプトを掲げ、本格的に各地域にて展開予定
- ✓ お客様の既存システムにも柔軟な対応が可能なシステム提供により、利便性の向上を実現
- ✓ 同コンセプトに賛同する周辺機器メーカーとの連携強化を図り、システム提供価値を向上

顧客企業

生産管理システム・ソフトウェア 等

顧客の既存システムに柔軟に対応可能なシステムの提供

<Coordinator>



Sler

Software vendor

System Integration連携

連携強化項目

- ◆ インタフェース標準化
- ◆ 加工条件検索連携
- ◆ 通信プロトコル

<Sodick Products>



<他社 Products>



- ✓ 当社射出成形機が競争優位性を持つ高付加価値成形市場（スマートフォンやICT分野での微細・精密コネクタ成形等）での販売をさらに強化し収益力の強化を目指す。

- ・プラスチック精密小物部品に求められる性能・機能が多様化。
- ・薄肉・軽量化、極端な寸法・形状の変化など、成形難易度が高まり続けている

⇒当社の高精度・高精密な成形機ニーズの拡大

狭ピッチコネクタ



カメラモジュール

可塑部

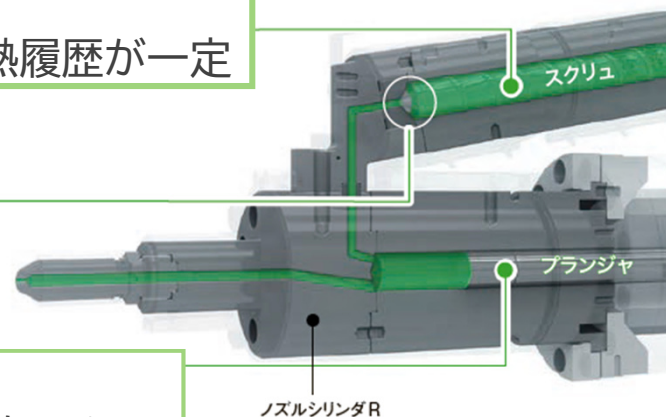
＞樹脂の溶融状態・熱履歴が一定

逆止部

＞樹脂充填量一定

射出部

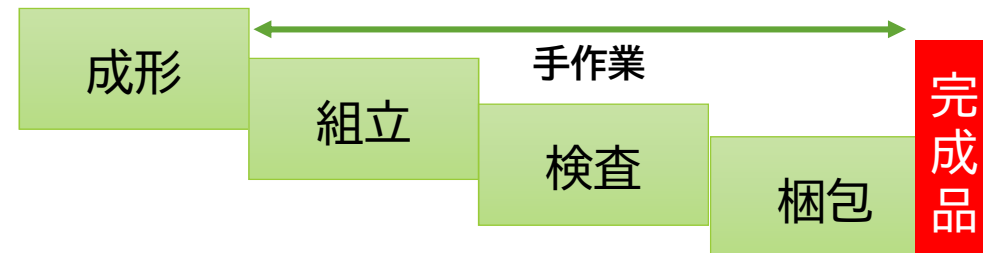
＞樹脂に過剰に熱を与えない



- ✓ 金型から成形品製造まで一気通貫した生産自動化ソリューションの提供によりものづくり現場の課題解決に貢献

- ・射出成形生産ラインの自動化ソリューションで、自動化装置やロボットを統合することで、省人化、生産性向上、中間在庫削減 等を実現

従来プロセス



自動化ソリューション



グループ会社 ソディックエフ・ティ金型成形事業部
自動化ライン



ロボットアームによる自動組立ライン

- ✓ 海外市場での売上拡大と事業領域の拡大を通して
グローバルな総合食品機械メーカーを目指す

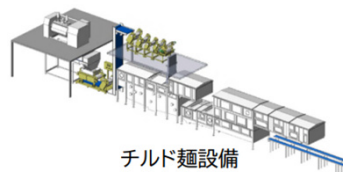
麺

特に新興国でのコールドチェーン(冷蔵商品)インフラの発達・高品質な食品需要拡大により、チルド麺、冷凍麺の需要拡大を見込む。

日本

外食チェーンからパスタ製造ラインを受注

- ・リピート受注
- ・当社製麺設備の優位性が高く評価され、同社海外(中国)の拠点へも展開



インド

即席麺用パイロット真空押出機を受注

- ・新たな製法を検討・確立した後、生産ラインに量産機が本格的に導入予定
- ・インドのインスタント麺市場規模は、現在の18.4億米ドルから2028年には約2倍の34.9億米ドルへ拡大が見込まれる



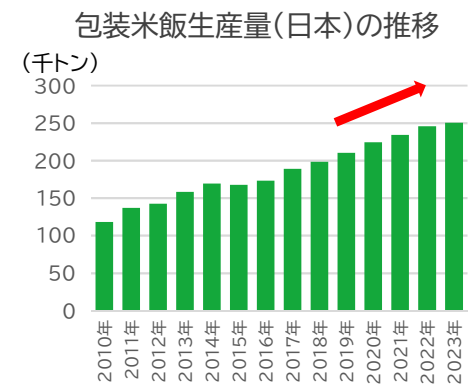
▲インスタント麺用真空押出機

➤直近のインド等新興国での受注を足掛かりに海外販売をさらに拡大

米飯

日本

- ・無菌包装米飯の生産量は年々増加
⇒今後も拡大の見込み



出典:農林水産省「食品産業動態調査」

中華圏・アジア

- ・中華圏やアジアでも需要増加を見込む
想定潜在的市場規模は日本の5倍



※1 各種資料より当社推定

※2 1ライン:15~20億円程度

➤中国、韓国、ベトナム、タイ、インド、米国 等をターゲット市場として、米飯装置の拡販を目指す

✓ 麺、米飯以外の分野へも展開し総合食品機械メーカーへ

惣菜

加熱加圧殺菌装置により、食品の消費期限を延長でき、食品ロスの削減に貢献。



最大145℃の高温
飽和水蒸気によ
り、食材表面を
短時間で殺菌処理

おいしさそのまま
鮮度を維持



加熱加圧殺菌装置

製菓

製麺技術を製菓関連設備へ応用

- 菓子メーカーの国内外工場等へ納入
- 生地攪拌ミキサーや粉粒体急速冷却装置など、様々な設備を販売



真空Zニード



粉粒体急速冷却装置

新世代肉様プラントベースフード 「フラカルネ」

食品機械メーカーから、「食品メーカー」への展開

- 小麦由来のタンパク質を原料とした代替肉を新開発
- 特殊加熱装置による一体成形で肉本来の弾力とジューシーさを実現。
- 健康志向のビーガン食材としても拡大の見込みあり。
- 世界人口100億人となる2050年には、植物由来の代替肉が肉市場の50%以上を占めるとの予測もあり。

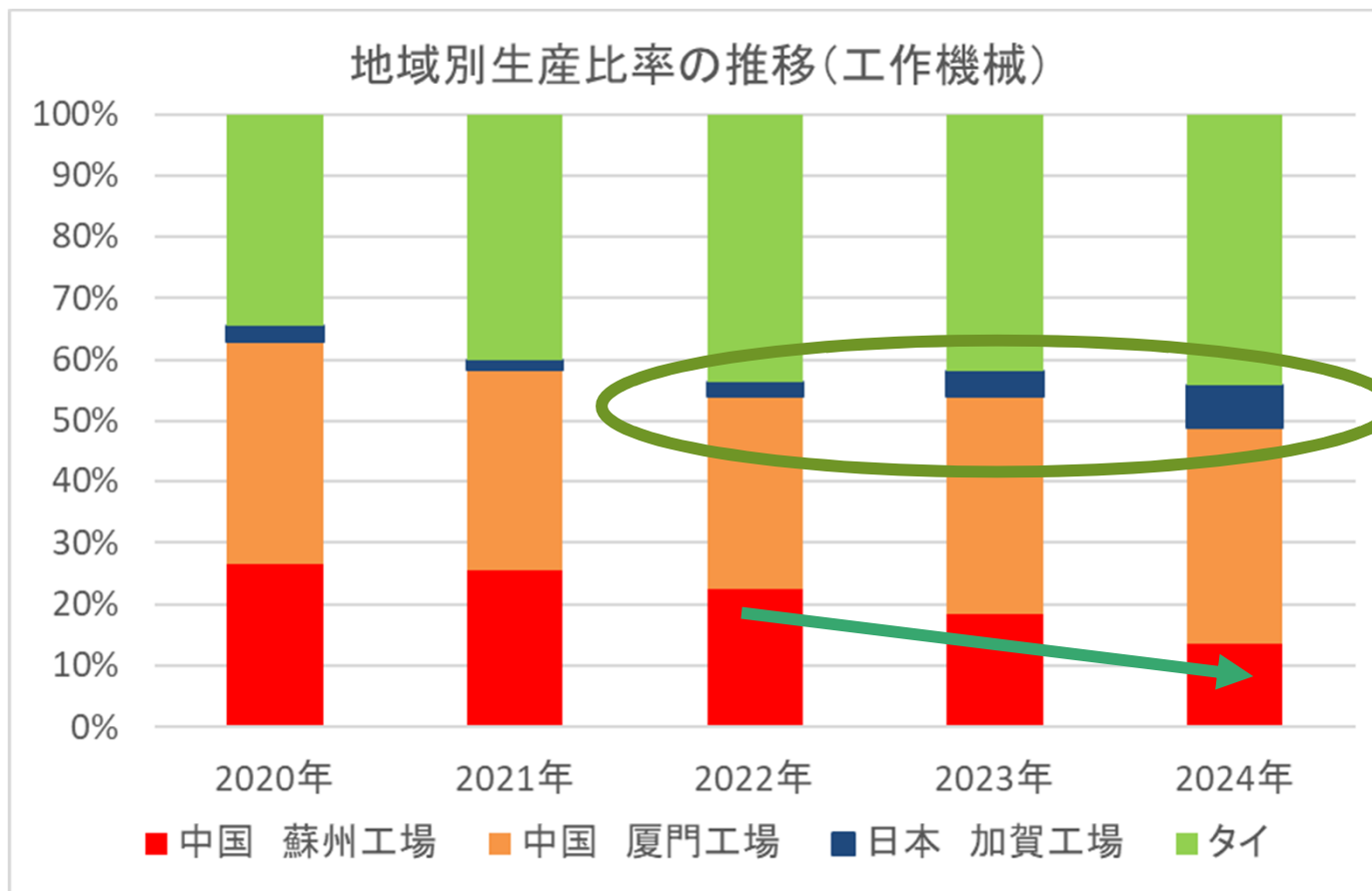
➤日本のホテル・レストラン等へ営業展開
長期的には、欧米市場へ販売展開を目指す

次世代PBF フラカルネ



生産構造改革の進捗

- ✓ 中国 蘇州工場の生産を厦門工場に集約し、中国における生産規模の適正化を実行中
- ✓ 国内生産の抜本的増強に着手し一定の成果があるも進展スピードに課題
- ✓ 国内外の人員異動、生産ノウハウ移管、国内サプライチェーン増強等対策実行中



* 2024年下期分は上期の月次平均値を6か月分加算して試算



加賀マルチファクトリー



中国・厦門工場

M&A、戦略投資、アライアンス

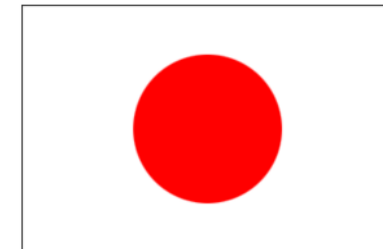
Sodick

- ✓ 中期経営計画で示したキャッシュアロケーションに則り成長投資への積極的資本配分実施
- ✓ 本年4月にPrima Additive 社(イタリア金属3Dプリンタ製造企業)と資本業務提携開始
- ✓ 事業基盤の強化、成長分野での事業機会獲得のため、複数の戦略投資機会を継続検討中

 Prima
Additive



Sodick



- ◆ 技術・製品、対象業界・顧客、対象地域、アプリケーション等の補完性
 - ◆ 金属3Dプリンタにおいて、日欧米を中心とした製品ラインアップ拡充
 - ◆ 新規領域/アプリケーションの開拓や販売ネットワークの拡大
- ⇒成長領域における一層の競争力強化

財務目標

	指標	目標	2023年実績	2024年予測値
資本効率	ROE(5年平均)	8%以上	3.5%	3.1%
財務の健全性	自己資本比率	50%以上	57.5%	57.6%
株主還元	DOE※1	2%以上*	2.2%	2.3%
	総還元性向※2	40%以上	—※3	164%

* 1株当たり配当金**27**円以上(23/12期首・期末平均の株主資本×DOE2%から計算)

※1 DOE(株主資本配当率)=配当金総額÷株主資本(期首・期末平均)

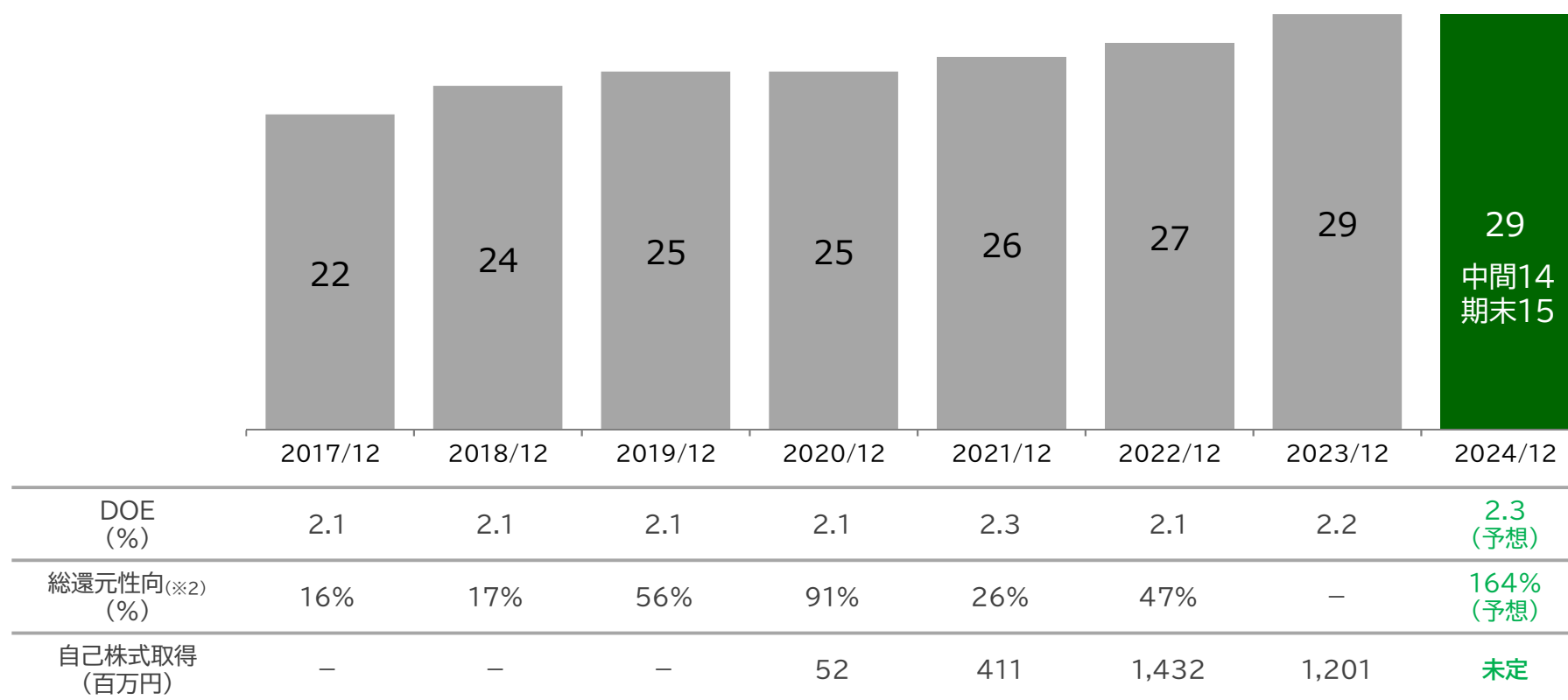
※2 当社における総還元性向の計算式:総還元性向=
$$\frac{(n\text{年度の配当})+(n+1\text{年度の自己株式取得額})}{n\text{年度の当期純利益}}$$

※3 2023年度は純利益がマイナスであり、総還元性向がマイナスと計算されるためハイフンにて表示

基本方針

株主資本配当率(DOE)2.0%以上^(※1) かつ 総還元性向40%以上

■一株当たり配当金推移



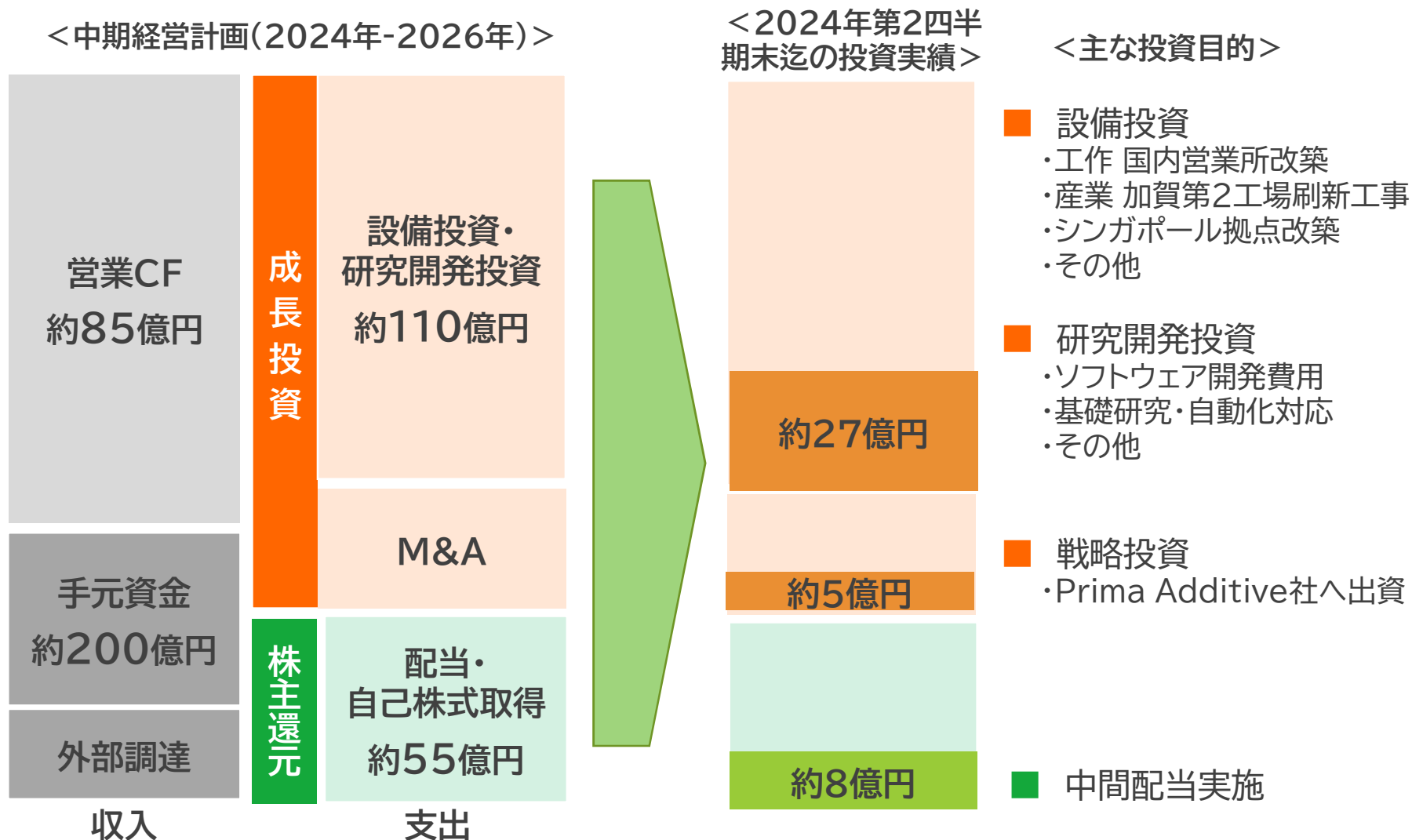
※1: 1株当たり配当金27円以上(23/12期首・期末平均の株主資本×DOE2%から計算)

※2: 実績は各年度の当年度配当金額+当年度の自己株式取得額

2023年度は純利益がマイナスであり、総還元性向がマイナスと計算されるためハイフンにて表示

キャッシュフロー（中期経営計画3カ年）進捗状況

- ✓ 成長投資への積極的な資本配分を実行中
- ✓ 有力な研究開発投資、戦略投資案件中心に精査中、今後成長投資の実行スピードを加速



構造改革進捗の評価 2024年12月期第2四半期末時点

- ✓ 本年2月に発表した中期経営計画に則り、構造改革に着手、全社プロジェクト体制で実施中
- ✓ 生産体制の見直しは、海外工場の集約化、国内工場増強に着手し、一定効果を上げ始めた
- ✓ 中間マネジメント層への権限移譲を進め、自律型組織への移行を促し、改革スピード上げる

◆全社基本方針

評価

1	中国依存脱却	△
2	選択と集中	△
3	生産・販売体制の再構築	△
4	バランスシート改善	△

◆工作機械

評価

1	生産体制最適化	△
2	ストックビジネス強化	○
3	脱中国依存	△

◆産業機械

評価

1	脱中国依存と生産体制の集約	○
2	収益性の高いモデルへのシフト	○
3	自動化ソリューション	○
4	欧州市場への参入	△

◆食品機械

評価

1	海外販売拡大	○
2	既存製品の改良	○
3	新規開発及び受託生産	○



参考資料

- 1.業績の推移
- 2.各指標の推移
- 3.事業別業績の推移
- 4.放電加工機受注台数・販売台数
- 5.事業別海外売上高比率
- 6.保守サービス比率
- 7.事業セグメントの構成と主要製品
- 8.新製品
- 9.展示会情報

業績の推移（四半期ベース）

Sodick
(百万円)

2022年12月期	1Q		2Q		3Q		4Q	
		前期比		前期比		前期比		前期比
売上高	19,604	136.9%	19,712	97.6%	20,441	105.0%	20,737	97.8%
売上原価	13,050	135.0%	13,126	99.7%	13,865	110.3%	13,629	96.9%
売上原価率	66.6%		66.6%		67.8%		65.7%	
営業利益	1,907	449.0%	1,571	68.6%	1,078	48.3%	1,255	67.4%
営業利益率	9.7%		8.0%		5.3%		6.1%	
経常利益	2,975	252.9%	2,982	114.4%	1,779	77.6%	537	21.4%
経常利益率	15.2%		15.1%		8.7%		2.6%	
当期純利益	2,113	242.6%	2,007	113.0%	1,033	59.8%	867	39.2%
当期純利益率	10.8%		10.2%		5.1%		4.2%	

上期		下期		通期	
	前期比		前期比		前期比
39,317	113.9%	41,178	101.3%	80,495	107.1%
26,176	114.6%	27,493	103.2%	53,670	108.5%
66.6%		66.8%		66.7%	
3,479	128.2%	2,333	56.9%	5,813	85.3%
8.8%		5.7%		7.2%	
5,958	157.5%	2,317	48.2%	8,275	96.4%
15.2%		5.6%		10.3%	
4,121	155.6%	1,900	48.2%	6,021	91.4%
10.5%		4.6%		7.5%	

2023年12月期	1Q		2Q		3Q		4Q	
		前期比		前期比		前期比		前期比
売上高	16,884	86.1%	16,594	84.2%	16,456	80.5%	17,238	83.1%
売上原価	11,574	88.7%	11,662	88.9%	12,064	87.0%	12,591	92.4%
売上原価率	68.5%		70.3%		73.3%		73.0%	
営業利益	318	16.7%	-708	-	-1,014	-	-1,414	-
営業利益率	1.9%		-4.3%		-6.2%		-8.2%	
経常利益	508	17.1%	333	11.2%	-492	-	-1,606	-
経常利益率	3.0%		2.0%		-3.0%		-9.3%	
当期純利益	141	6.7%	-244	-	-786	-	-3,714	-
当期純利益率	0.8%		-1.5%		-4.8%		-21.5%	

上期		下期		通期	
	前期比		前期比		前期比
33,479	85.2%	33,695	81.8%	67,174	83.5%
23,236	88.8%	24,655	89.7%	47,892	89.2%
69.4%		73.2%		71.3%	
-390	-	-2,428	-	-2,819	-
-1.2%		-7.2%		-4.2%	
841	14.1%	-2,099	-	-1,257	-
2.5%		-6.2%		-1.9%	
-103	-	-4,501	-	-4,604	-
-0.3%		-13.4%		-6.9%	

2024年12月期	1Q		2Q		3Q		4Q	
		前期比		前期比		前期比		前期比
売上高	15,636	92.6%	17,957	108.2%				
売上原価	11,120	96.1%	11,847	101.6%				
売上原価率	71.1%		66.0%					
営業利益	-780	-	723	-				
営業利益率	-5.0%		4.0%					
経常利益	-187	-	1,689	507.2%				
経常利益率	-1.2%		9.4%					
当期純利益	-497	-	1,297	-				
当期純利益率	-3.2%		7.2%					

上期		下期		通期	
	前期比		前期比		前期比
33,594	100.3%				
22,967	98.8%				
68.4%					
-56	-				
-					
1,502	178.4%				
4.5%					
800	-				
2.4%					

各指標の推移

従業員数の推移

(人)

	18/12	19/06	19/12	20/06	20/12	21/06	21/12	22/06	22/12	23/06	23/12	24/06
単体	755	801	841	869	886	914	924	987	1,087	1,170	1,183	1,192
連結	3,676	3,625	3,579	3,576	3,633	3,670	3,683	3,772	3,746	3,778	3,562	3,487

*単体には子会社への出向者を含めておりません。

*単体・連結ともに臨時雇用者は含めておりません。

各指標の推移

	20/12	21/12	22/12	23/12	21/06	22/06	23/06	24/06	
売上債権回収期間(ヶ月)	3.2	3.3	2.8	2.9	3.1	3.1	2.9	2.8	*売上債権回収期間:売上債権/売上高(月商)
棚卸資産回転期間(ヶ月)	4.4	4.4	5.1	5.8	4.3	5.1	6.3	6.0	*棚卸資産回転期間:棚卸資産/売上高(月商)
仕入債務回転期間(ヶ月)	1.7	2.1	1.8	1.6	2.2	2.0	1.8	1.7	*仕入債務回転期間:仕入債務/売上高(月商)
固定資産回転率	1.5	2.0	1.7	1.4	1.8	1.7	1.4	1.5	*固定資産回転率(年換算):売上高/固定資産
有利子負債回転期間(ヶ月)	8.6	5.4	4.9	6.7	6.3	5.1	6.2	7.0	*有利子負債回転期間:有利子負債/売上高
自己資本比率(%)	49.9	55.2	58.5	57.5	52.9	57.2	59.1	57.6	*時価ベース自己資本比率:
時価ベース自己資本比率(%)	35.7	32.8	26.8	27.6	42.2	30.1	26.0	25.7	期末株価終値×期末発行株式数(自己株式控除後)
ROE(%)	2.3	10.0	7.8	-5.8	8.3	10.5	-	2.0	*ROE(年換算):当期純利益/期首期末平均自己資本
ROA(%)	1.2	5.3	4.4	-3.4	4.3	5.9	-	1.2	*ROA(年換算):当期純利益/期首期末平均総資産
D/Eレシオ(倍)	0.74	0.49	0.46	0.59	0.55	0.47	0.50	0.61	*D/Eレシオ:有利子負債/株主資本
債務償還年数(年)	6.2	4.4	9.2	-	2.9	11.0	32.0	3.2	*債務償還年数:有利子負債/営業キャッシュフロー
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	23.1	23.4	11.9	-	39.7	10.1	3.7	32.7	*インタレスト・カバレッジ・レシオ:営業キャッシュフロー/利払い

事業別業績の推移



2022年12月期		1Q		2Q		3Q		4Q	
			前期比		前期比		前期比		前期比
工作機械事業	売上高	14,096	135.8%	14,149	102.8%	14,318	109.3%	13,928	97.8%
	営業利益	2,143	238.6%	1,795	79.5%	1,568	74.5%	1,539	80.4%
	営業利益率	15.2%		12.7%		11.0%		11.1%	
産業機械事業	売上高	2,625	138.7%	2,618	95.8%	2,871	124.8%	2,540	73.9%
	営業利益	152	1501.7%	391	233.7%	189	195.6%	87	38.0%
	営業利益率	5.8%		15.0%		6.6%		3.4%	
食品機械事業	売上高	1,021	175.9%	1,323	68.2%	1,820	71.6%	2,648	145.5%
	営業利益	-29	-	32	13.2%	90	25.0%	353	133.8%
	営業利益率	-		2.4%		5.0%		13.4%	
その他	売上高	1,861	127.4%	1,621	92.7%	1,431	93.8%	1,619	95.2%
	営業利益	188	130.9%	88	31.3%	86	33.1%	-50	-
	営業利益率	10.1%		5.4%		6.1%		-	
連 結	売上高	19,604	136.9%	19,712	97.6%	20,441	105.0%	20,737	97.8%
	調整額	-548	-	-736	-	-855	-	-674	-
	連結営業利益	1,907	449.0%	1,571	68.6%	1,078	48.3%	1,255	67.4%
	営業利益率	9.7%		8.0%		5.3%		6.1%	

上期	前期比	下期	前期比	通期	前期比
28,245	117.0%	28,247	103.3%	56,492	109.7%
3,938	124.8%	3,108	77.3%	7,046	98.2%
13.9%	-	11.0%	-	12.5%	-
5,244	113.3%	5,411	94.3%	10,656	102.8%
544	306.3%	276	84.8%	820	163.0%
10.4%	-	5.1%	-	7.7%	-
2,344	93.0%	4,469	102.4%	6,813	99.0%
3	1.6%	443	71.0%	447	53.9%
0.1%	-	9.9%	-	6.6%	-
3,482	108.5%	3,050	94.5%	6,533	101.5%
277	65.0%	35	9.4%	313	38.6%
8.0%	-	1.1%	-	4.8%	-
39,317	113.9%	41,178	101.3%	80,495	107.1%
-1,284	-	-1,530	-	-2,814	-
3,479	128.2%	2,333	56.9%	5,813	85.3%
8.8%	-	5.7%	-	7.2%	-

2023年12月期		1Q		2Q		3Q		4Q	
			前期比		前期比		前期比		前期比
工作機械事業	売上高	12,227	86.7%	11,973	84.6%	11,084	77.4%	11,421	82.0%
	営業利益	1,023	47.7%	433	24.2%	-48	-	-609	-
	営業利益率	8.4%		3.6%		-0.4%		-5.3%	
産業機械事業	売上高	2,393	91.1%	2,024	77.3%	1,949	67.9%	2,262	89.1%
	営業利益	140	92.1%	-134	-	-263	-	-220	-
	営業利益率	5.9%		-6.7%		-13.5%		-9.7%	
食品機械事業	売上高	998	97.8%	1,449	109.6%	2,125	116.8%	2,328	87.9%
	営業利益	-44	-	141	438.0%	175	194.7%	603	170.5%
	営業利益率	-4.4%		9.8%		8.3%		25.9%	
その他	売上高	1,265	68.0%	1,146	70.7%	1,297	90.7%	1,225	75.6%
	営業利益	-0	-	-291	-	-286	-	-377	-
	営業利益率	0.0%		-25.4%		-22.1%		-30.8%	
連 結	売上高	16,884	86.1%	16,594	84.2%	16,456	80.5%	17,238	83.1%
	調整額	-800	-	-858	-	-591	-	-809	-
	連結営業利益	318	16.7%	-708	-	-1,014	-	-1,414	-
	営業利益率	1.9%		-4.3%		-6.2%		-8.2%	

上期	前期比	下期	前期比	通期	前期比
24,201	85.7%	22,505	79.7%	46,706	82.7%
1,457	37.0%	-658	-	798	11.3%
6.0%	-	-2.9%	-	1.7%	-
4,418	84.2%	4,212	77.8%	8,630	81.0%
5	1.1%	-483	-	-478	-
0.1%	-	-11.5%	-	-5.5%	-
2,448	104.4%	4,454	99.7%	6,902	101.3%
97	-	778	175.4%	876	195.9%
4.0%	-	17.5%	-	12.7%	-
2,411	69.2%	2,522	82.7%	4,934	75.5%
-291	-	-663	-	-954	-
-12.1%	-	-26.3%	-	-19.4%	-
33,479	85.2%	33,695	81.8%	67,174	83.5%
-1,659	-	-1,401	-	-3,060	-
-390	-	-2,428	-	-2,819	-
-1.2%	-	-7.2%	-	-4.2%	-

2024年12月期		1Q		2Q		3Q		4Q	
			前期比		前期比		前期比		前期比
工作機械事業	売上高	11,471	93.8%	13,404	112.0%				
	営業利益	-56	-	1,021	235.4%				
	営業利益率	-0.5%		7.6%					
産業機械事業	売上高	1,994	83.3%	2,438	120.4%				
	営業利益	126	90.0%	169	-				
	営業利益率	6.3%		6.9%					
食品機械事業	売上高	859	86.0%	689	47.5%				
	営業利益	-45	-	53	37.4%				
	営業利益率	-5.3%		7.7%					
その他	売上高	1,311	103.7%	1,425	124.4%				
	営業利益	-122	-	31	-				
	営業利益率	-9.3%		2.2%					
連 結	売上高	15,636	92.6%	17,957	108.2%				
	調整額	-682	-	-552	-				
	連結営業利益	-780	-	723	-				
	営業利益率	-5.0%		4.0%					

上期	前期比	下期	前期比	通期	前期比
24,876	102.8%				
965	66.3%				
3.9%	-				
4,432	100.3%				
295	5132.4%				
6.7%	-				
1,548	63.2%				
7	-				
0.5%	-				
2,737	113.5%				
-90	-				
-	-				
33,594	100.3%				
-1,234	-				
-56	-				
-	-				

放電加工機受注台数・販売台数



放電加工機 受注台数

(台)

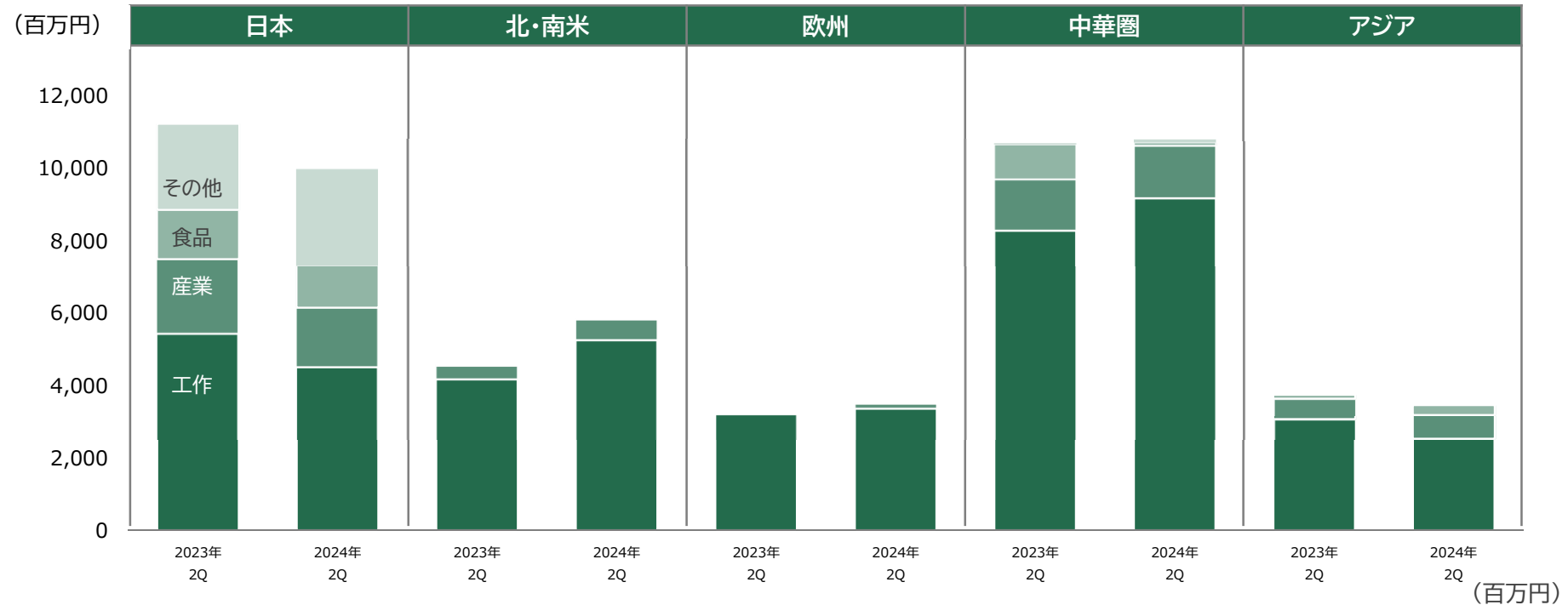
	2022年12月期					2023年12月期					2024年12月期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	合計	1Q	2Q	3Q	4Q	合計	1Q	2Q	3Q	4Q	合計
北南米	81	58	56	83	278	70	63	70	74	277	65	68			133
欧州	96	106	58	94	354	70	56	83	76	285	63	57			120
中華圏	578	619	340	292	1,829	341	288	236	226	1,091	315	511			826
アジア	92	93	93	60	338	64	84	94	42	284	59	79			138
日本	120	91	90	96	397	51	52	69	58	230	48	62			110
合計	967	967	637	625	3,196	596	543	552	476	2,167	550	777			1,327

放電加工機 販売台数

(台)

	2022年12月期					2023年12月期					2024年12月期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	合計	1Q	2Q	3Q	4Q	合計	1Q	2Q	3Q	4Q	合計
北南米	68	58	73	86	285	66	77	59	72	274	76	75			151
欧州	108	97	80	88	373	84	65	79	63	291	72	49			121
中華圏	514	522	418	352	1,806	284	338	262	221	1,105	240	462			702
アジア	89	66	110	95	360	59	59	87	71	276	51	48			99
日本	125	105	79	86	395	108	64	65	76	313	70	45			115
合計	904	848	760	707	3,219	601	603	552	503	2,259	509	679			1,188

事業別海外売上高比率

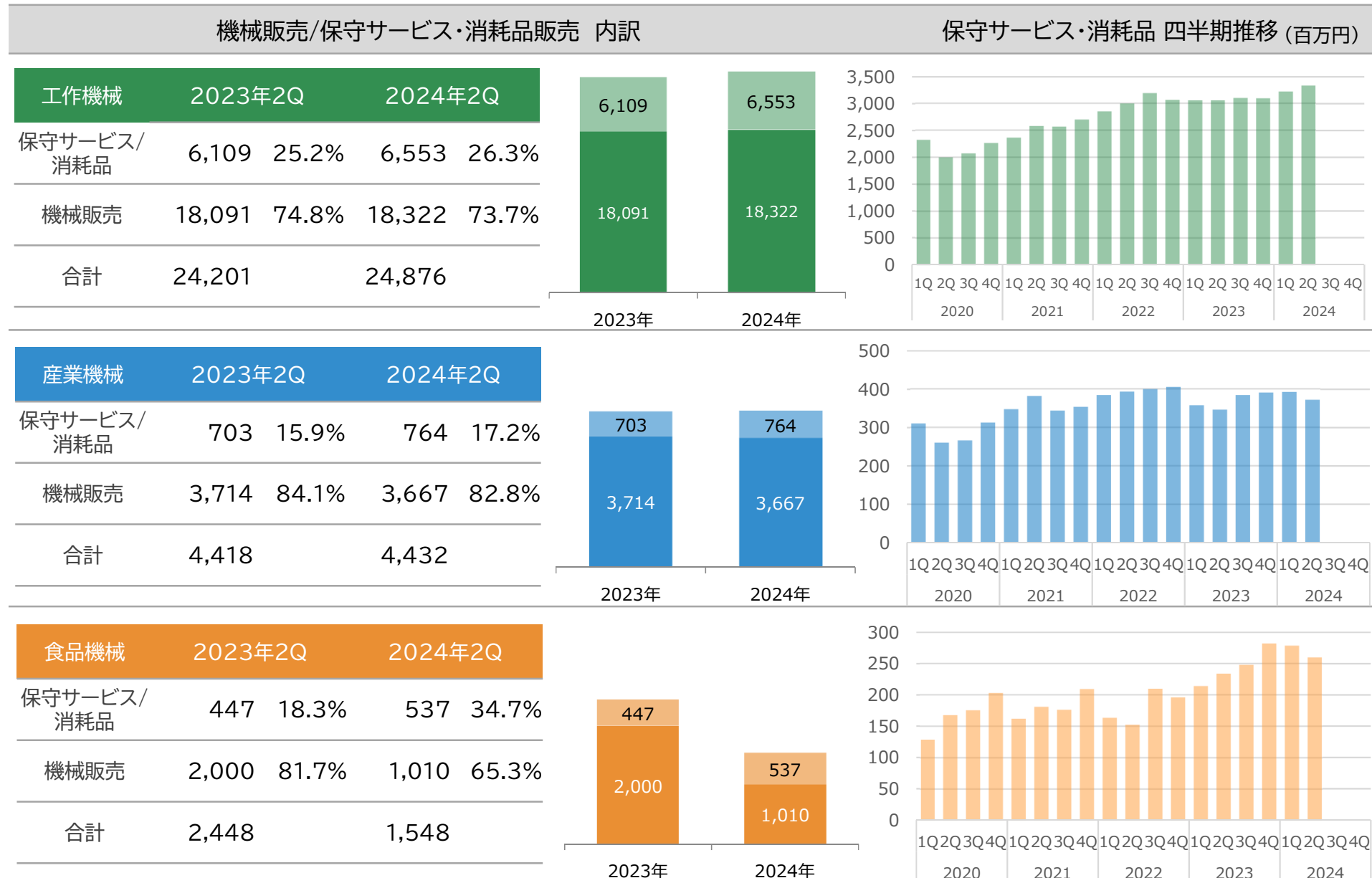


2023年2Q	日本		北・南米		欧州		中華圏		アジア		計	
工作機械	5,428	22.4%	4,182	17.3%	3,224	13.3%	8,288	34.3%	3,077	12.7%	24,201	72.3%
産業機械	2,062	46.7%	366	8.3%	24	0.6%	1,402	31.7%	561	12.7%	4,418	13.2%
食品機械	1,369	56.0%	20	0.8%	-	-	952	38.9%	104	4.3%	2,448	7.3%
その他	2,367	98.2%	-	-	-	-	43	1.8%	-	-	2,411	7.2%
地域別 計	11,228	33.5%	4,570	13.7%	3,249	9.7%	10,687	31.9%	3,743	11.2%	33,479	100.0%

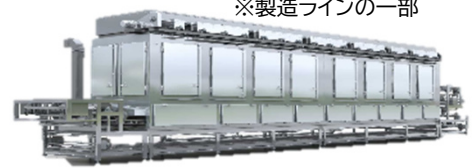
2024年2Q	日本		北・南米		欧州		中華圏		アジア		計	
工作機械	4,514	18.1%	5,259	21.1%	3,395	13.7%	9,173	36.9%	2,532	10.2%	24,876	74.0%
産業機械	1,641	37.0%	566	12.8%	129	2.9%	1,435	32.4%	658	14.9%	4,432	13.2%
食品機械	1,167	75.4%	20	1.3%	-	-	92	5.9%	267	17.4%	1,548	4.6%
その他	2,652	96.9%	-	-	-	-	85	3.1%	-	-	2,737	8.2%
地域別 計	9,976	29.7%	5,846	17.4%	3,524	10.5%	10,787	32.1%	3,458	10.3%	33,594	100.0%

為替の影響額 - +約 5.9 億円 +約 3.8 億円 +約 7.9 億円 +約 1.6 億円 +約 19.3 億円

保守サービス比率



事業セグメントの構成と主要製品

セグメント	工作機械	産業機械	食品機械
主要製品	【形彫り放電加工機】【ワイヤ放電加工機】   【細穴加工機】 【金属3Dプリンタ】   【マシニングセンタ】【レーザ加工機】  	【横型射出成形機】  【縦型射出成形機】  【軽金属射出成形機】 	【製麺機(製麺ライン)】   【無菌包装米飯製造装置】 ※製造ラインの一部  【その他食品加工機】  
販売市場	自動車、家電、電気電子機器、航空宇宙、医療機器、エネルギー 等	自動車、電気電子機器、医療機器 等	製麺(チルド麺、LL麺、冷凍麺等)、パックご飯、製菓・製パン、総菜、野菜加工 等
生産拠点	 加賀  廈門  タイ  蘇州	 加賀  タイ	 加賀  廈門

2024年2Q リリース新製品

ワイヤ 放電加工機

- ✓ 省エネポンプシステムで消費電力20%削減
- ✓ 高板厚ワーク仕上げ加工でのワイヤ消費量最大30%削減
- ✓ 使用環境にオールマイティ対応



リニアモータ駆動
高速・高性能
ワイヤ放電加工機
AL600G
"i Groove + Edition"

形彫り 放電加工機

- ✓ 省エネポンプシステムで消費電力30%削減
- ✓ 熱変位量50%低減を実現する精密熱変位補正機能を標準搭載
- ✓ 加工時間を21%削減



リニアモータ駆動
高速・高性能 精密
形彫り放電加工機
AL40G+

金属3D プリンタ

- ✓ 大型金型部品を安定造形
- ✓ MRS※で1台の金属3Dプリンタ設備で複数種類の金属粉末材料に対応可能
- ✓ 造形モニタリング機能による予知保全で稼働率向上

※カートリッジ式MRS (Material Recycle System)



高速造形
大型金属3Dプリンタ
LPM450

2024年12月期2Q 展示会情報&製品情報

展示会情報

【概要】FOOMA JAPAN 2024

会 期:2024.6.4~6.7(4日間)

会 場:東京ビックサイト 東1-8ホール

来場者:約11万3,777人

出展機:

肉様PBF「フラカルネ」、麺・パン・菓子の生地成形機、
連動式真空冷却装置、上向きトレイ脱パン装置等



製品情報

【特徴】

- ✓小麦由来タンパク質で肉本来の弾力とジューシーさを実現
- ✓従来の肉様 PBF※ では難しいトンカツや酢豚、焼肉など幅広いレシピに適応
- ✓従来の肉様 PBF と比べ湿潤で柔軟、低カロリー・低脂質



※Plant Based Food:動物性原材料ではない植物由来の原材料を使用した食品の総称

留意事項

本資料は、情報提供のみを目的として作成するものであり、当社株式の購入を含め、特定の商品の募集・勧誘・営業等を目的としたものではありません。

本資料で提供している情報は、金融商品取引法、内閣府令、規則並びに東京証券取引所上場規則等で要請され、またはこれらに基づく開示書類ではありません。

本資料には財務状況、経営結果、事業に関する一定の将来予測並びに当社の計画及び目的に関する記述が含まれます。このような将来に関する記述には、既知または未知のリスク、不確実性、その他実際の結果または当社の業績が、明示的または黙示的に記述された将来予測と大きく異なるものとなる要因が内在することにご留意ください。これらの将来予測は、当社の現在と将来の経営戦略及び将来において当社の事業を取り巻く政治的、経済的環境に関するさまざまな前提に基づいて行われています。

本資料で提供している情報に関しては、万全を期しておりますが、その情報の正確性、確実性、妥当性及び公正性を保証するものではありません。また予告なしに内容が変更または廃止される場合がありますので、予めご了承ください。

＜本資料に関するお問い合わせ先＞

株式会社ソディック コーポレート本部 社長室

〒224-8522 神奈川県横浜市都筑区仲町台三丁目12番1号

TEL:045-942-3111 FAX:045-943-5835